別紙 (期間入札の場合)

### 条件付き一般競争入札(事後審査方式)の公告

公告日	令和3年8月25日						
工事番号	社第10号						
工種	建築						
工事名	総合保健福祉セン	ンター「タワーの湯跡」整備改修工事					
施工場所	小矢部市 鷲島	地内					
工事完成期限	令和4年 1月20日						
工事概要	工事範囲 総合係	呆健福祉センター2階旧タワーの湯内 524.70m2					
<b>上尹帆安</b>	建築工事 自動	、ア新設 1箇所、たたみ表替え 52帖、					
	床タイル・カーペットラ	脹 291㎡、建具·内装改修 一式					
		電灯・コンセント・火災報知設備 一式					
	機械設備工事	多目的トイレ改修 1箇所、便器洋式化改修 3基					
予定価格		(消費税及び地方消費税相当額を除く)					
低入札調查基準	設定有り 当該基準価格を	を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、					
価格後日、入札参加者に結果を通知する。							
	本店、支店又は	・小矢部市内に主たる営業所を有する者					
入札参加資格	営業者の所在地	・進市内業者に認定された者					
	等級又は総合評	・令和3・4年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の					
	価値	建築工事において、A等級又はB等級に登録されている者					
	その他	<ul><li>・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条</li></ul>					
入札方法	- ,—	期間入札					
入札書の提出方法	 去	持参又は郵送					
		令和3年8月30日 から 令和3年9月6日 まで					
入札書の提出期間	間	持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分~17時15分					
		郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着					
入札書の提出先		総務部財政課					
開札日時	令和3年9月8	8日 9時21分					
開札場所	小矢部市役所 講	堂 (4階)					
入札保証金	免除						
契約保証金	納付必要(請負付	弋金額が500万円以上の場合)					
積算内訳書	要(入札時に、)	入札書と同封して提出)					
入札の無効							
小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申 設計図書の配布」する設計図書を、ダウンロードにより取得する。							
ENTERVED / ONTERCY / / TOS / WILL / OS							
設計図書に対する		令和3年9月1日					
質問に対する回名	<b></b>	令和3年9月3日					

令和3年度

社 第 10 号

総合保健福祉センター「タワーの湯跡」整備改修工事

工事実施設計書

令和3年度 小矢部市役所

## 設 計 書

## 小矢部市 鷲島 地内

総合保健福祉センター「タワーの湯跡」整備改修工事

工事金

Щ

(うち消費税及び地方消費税相当額

шγ

総合保健福祉センター「タワーの湯跡」整備改修工事 小矢部市総合保健福祉センター2階旧タワーの湯スペースの一部を改修するもの。 工事範囲 小矢部市総合保健福祉センター2階旧タワーの湯内 524.70m<sup>2</sup> 工事 出入口改修(自動ドア新設1箇所)ほか建具改修 、たたみ表替え(52帖)、床タイル • 建築工事 カーペット張 (291m²) ほか内装改修 大要 ・電気設備工事 電灯・コンセント・火災報知設備 、多目的トイレ改修 (1箇所) 一式 ・機械設備工事 多目的トイレ改修(1箇所) 、便器洋式化改修(3基) 一式 工 期 契約締結日の翌日から令和4年1月20日まで

#### 本工事費内訳書

番号	名称	形式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	総合保健福祉センター「タワ	ーの湯跡」整備改修工事					
	直接工事費		1.0	式			(1)
	間接工事費計	1)+2+3	1.0	式			(2)
		共通仮設費					ア
		(共通仮設費率に含まれない	仮設費)				イ
		共通仮設費 計					① (ア+イ)
		現場管理費					2
		一般管理費					3
	工事価格	(1) + (2)	1.0	式			
	計上	工事価格の丸め	1.0	式			(3)
	消費税及び地方消費税相当額	(3) ×10%	1.0	式			(4)
	請負対象工事費計	(3) + (4)	1.0	式			

#### 直接工事費内訳書

記号	名称	形式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	   総合保健福祉センター「タワ	 一の湯跡」整備改修工事					
A	建築主体工事		1.0	式			
	電気設備工事		1.0	"			
	機械設備工事		1.0	"			
	計						

記号	<u>内訳明細書</u> 名称	規格・品番・寸法等	数量	単位	単価	金額	備考
A	建築主体工事						
1	直接仮設		1.0	式			
2	撤去工事		1.0	式			
3	建具改修		1. 0	式			
4	内装改修		1.0	式			
	合 計						

<del>\*</del>

3

	7訳明細書			1		T T	
記号	名称	規格・品番・寸法等	数量	単位	単価	金額	備考
1	直接仮設						
	墨出し	複合改修 (改修部分)	100.0	m2			
	養生	複合改修 (改修部分)	527. 0	IJ.			
	養生 (通路)	複合改修 (通路部分)	59.8	"			
	整理清掃後片付け	複合改修 (改修部分)	527. 0	IJ			
	整理清掃後片付け (通路)	複合改修 (通路部分)	59.8	IJ.			
	内部仕上足場	脚立足場 運搬費共	52. 6	"			
	内部仕上足場	枠組足場 (移動式) 運搬費共	2.7	IJ			
	小計						

tt III-	扫掉 口亞 上汗於	<i>₩</i> , 目.	出上	Ж/т	<u> </u>	/±± ±x.
	規格・品番・寸法等	数重	<b>単</b> 位	単価	金額	備考
撤去工事						
床面沓摺・仕上げカッター入れ	モルタル面	21. 9	m			
床タイル撤去		4.8	m2			
床沓摺撤去		4. 2	m			
床ビニルシート撤去		12. 1	m2			
床タイルカーペット撤去		267. 0	m2			
壁カッター切り	ボード面	51.8	m			
壁クロス撤去		317. 0	m2			
壁ボード LGS下地撤去		47. 7	m2			
天井撤去 (下地共)		14. 6	m2			
天井岩綿吸音ボード撤去		21. 9	"			
金属製ドア撤去	0.8×2.0, 1.8×2.0	5. 2	m2			
移動間仕切り撤去	SP	19. 4	m2			
トイレブース撤去		11.8	m2			
壁掛け空気清浄機撤去		2. 0	ヶ所			
厨房機器撤去	SUS流し×1、作業台×2、製氷機	4. 0	ヶ所			
食器棚撤去	1. 2×0. 8×2. 0	1.0	ヶ所			
倉庫木製棚撤去	3段 L型	1.0	ヶ所			
	床面沓摺・仕上げカッター入れ 床タイル撤去 床沓摺撤去 床ビニルシート撤去 床タイルカーペット撤去 壁カッター切り 壁クロス撤去 壁ボード LGS下地撤去 天井撤去 (下地共) 天井岩綿吸音ボード撤去 金属製ドア撤去 移動間仕切り撤去 トイレブース撤去 壁掛け空気清浄機撤去 厨房機器撤去 食器棚撤去	撤去工事	撤去工事大の金額21.9床タイル撤去4.8床を指撤去4.2床ビニルシート撤去12.1床タイルカーペット撤去267.0壁カッター切りボード面壁クロス撤去317.0壁ボード LGS下地撤去47.7天井撤去 (下地共)14.6天井岩綿吸音ボード撤去21.9金属製ドア撤去0.8×2.0、1.8×2.0移動間仕切り撤去5.2移動間仕切り撤去5Pトイレプース撤去11.8壁掛け空気清浄機撤去2.0厨房機器撤去SUS流し×1、作業台×2、製氷機食器棚撤去1.2×0.8×2.01.0	撤去工事       床面沓摺・仕上げカッター入れ       モルタル面       21.9 m         床タイル撤去       4.8 m2         床沓摺敝去       4.2 m         床ピニルシート撤去       12.1 m2         床タイルカーペット撤去       267.0 m2         壁カッター切り       ボード面       51.8 m         壁クロス撤去       317.0 m2         壁ボード LGS下地撤去       47.7 m2         天井撤去 (下地共)       14.6 m2         天井治綿吸音ボード撤去       21.9 "         金属製ドア撤去       0.8×2.0、1.8×2.0       5.2 m2         移動間仕切り撤去       SP       19.4 m2         トイレプース撤去       11.8 m2         壁掛け空気清浄機撤去       2.0 ヶ所         厨房機器撤去       SUS流し×1、作業台×2、製氷機       4.0 ヶ所         食器棚撤去       1.2×0.8×2.0       1.0 ヶ所	撤去工事       定かりル面       21.9 m         床タイル撤去       4.8 m2         床沓摺撤去       4.2 m         床どニルシート撤去       12.1 m2         床タイルカーペット撤去       267.0 m2         壁カッター切り       ボード面       51.8 m         壁クロス撤去       317.0 m2         壁ボード LGS下地撤去       47.7 m2         天井撤去 (下地共)       14.6 m2         天井岩綿吸音ボード撤去       21.9 n         金属製ドア撤去       0.8×2.0、1.8×2.0       5.2 m2         移動間仕切り撤去       SP       19.4 m2         トイレブース撤去       11.8 m2         壁掛け空気清浄機敵去       2.0 ヶ所         厨房機器撤去       SUS流し×1、作業台×2、製氷機       4.0 ヶ所         食器棚撤去       1.2×0.8×2.0       1.0 ヶ所	旅去工事     21.9 m       床タイル椒去     4.8 m²       床を搭散去     4.2 m       床どニルシート撤去     12.1 m²       ボタイルカーペット撤去     267.0 m²       壁カッター切り     ボード面       壁フロス椒去     317.0 m²       壁ボード LGS下地敷去     47.7 m²       天井協衆 (下地共)     14.6 m²       天井岩綿吸音ボード撤去     21.9 "       金属製ドア撤去     0.8×2.0、1.8×2.0     5.2 m²       移動間仕切り撤去     SP     19.4 m²       片イレブース撤去     11.8 m²       壁掛け空気清浄機撤去     2.0 ヶ所       厨房機器撤去     5US流し×1、作業台×2、製水機     4.0 ヶ所       食器棚撤去     1.2×0.8×2.0     1.0 ヶ所

部市

5

	为訳明細書						
記号	名称	規格・品番・寸法等	数量	単位	単価	金額	備考
	(発生材積込)						
	金属類	人力	731.0	k g			
	ボード類	人力	3.8	m3			
	内装材類	人力	2. 7	"			
	(発生材運搬)						
	金属類	人力	731. 0	k g			
	ボード類	人力	3.8	m3			
	内装材類	人力	2. 7	"			
	(発生材処分)						
	金属類	スクラップ控除	621.0	k g			
	内装材類	石膏ボード類	2. 7	m3			
	混合廃棄物収集運搬処分費	2. 2m3BOX 石膏ボード含まず	2. 0	個			
	(建具、ビニルシート等)						
	小 計						

記号	名称	規格・品番・寸法等	数量	単位 単価	金額	備考
3	建具改修					
	SSD-1		1.0	ヶ所		
	工事費		1.0	II .		
	エンジン取付費		1. 0	式		
	搬入費		1.0	式		
	法定福利費		1.0	式		
	小小計					
	SP-1		1.0	II .		
	TB-1		1.0	ヶ所		
	TB-2		1.0	II .		
	工事費		1.0	式		
	搬入費		1.0	式		
	法定福利費		1.0	式		
	小小計					

記号	<u>内訳明細書</u> 名称	規格・品番・寸法等	数量	単位	単価	金額	備考
	WD-1	新設片引き戸 MDF3方枠共	2.0	ヶ所			
	WD-2	新設片引き戸 MDF3方枠共	2.0	IJ.			
	WD-3	新設片引き戸 MDF3方枠共	1.0	ヶ所			
	WD-4	新設引違戸 MDF3方枠共 (1ヶ所)	2.0	"			
	WD-5		1.0	"			
	金物費		1.0	式			
	取付費		1.0	式			
	法定福利費						
	小小計						
	小計						

	<u> </u>		1		Г	ı	
記号	名称	規格・品番・寸法等	数量	単位	単価	金額	備考
4	内装改修						
天井	天井岩綿吸音板	t 12.0	4. 9	m2			
	天井岩綿吸音板 t 12	石膏ボード t 9.5下地	21. 9	"			
	LGS下地	19型(屋内)下地張りなし@300	21. 9	"			
	塩ビジョイナー		56. 7	m			
壁	石膏ボード12.5		121. 0	"			
	強化石膏ボード	21+21	8. 4	m2			
	LGS下地下地	W100	5. 9	"			
	LGS下地下地	W65	55. 6	"			
	壁開口部補強	0.9×2.0	6. 0	ヶ所			
	ビニルクロス張り	クロス撤去跡下地処理費	317. 0	m2			
	ビニルクロス張り		425. 0	m2			
床	たたみ表替え	和紙たたみ(中級品) 取り外し取付共	52. 0	帖			
	法定福利費		1.0	式			
	タイルカーペット		291. 0	m2			
	ビニル巾木		38. 3	"			
	床100角タイル張り		4.8	"			
その他	ビニル床シート	t 2. 0	6. 6	m2			
	サイン取付	新設室名サイン	8. 0	ヶ所			
	サイン取付	施設名サイン	1.0	"			
	WD-6 建具切り詰め		3. 0	ヶ所			

小矢部市

9

記号	<u> </u>	規格・品番・寸法等	数量	単位	単価	金額	備考
	手すり	壁付	12.0	m			
	手すり	床付け	6. 0	"			
	スロープ	アルミ製スロープ 905×1500 既製品	2.0	ヶ所			
	コンセント類再取付		34. 0	ヶ所			
	壁照明器具再取付		9. 0	ヶ所			
	揭示板再取付		2.0	ヶ所			
	便所手すり	P型手すり	1.0	"			
	便所手すり	L型手すり 700×700	4.0	"			
	便所紙巻き器	2連紙巻き器	4.0	"			
	上り框	100×150	4. 5	m			
	床見切りモルタル補修		6. 5	"			
	木建具 ガラス	TG4. 0	8. 2	"			
	飛散防止フィルム		8. 2	ıı .			
	木建ガラス押えシール	5×5	26. 6	m			
	既設洗面化粧台撤去・再取付		2.0	ヶ所			
	小 計						

	内訳明細書						1
記号	名称	規格・品番・寸法等	数量	単位	単価	金額	備考
а	指定仮設						
	工事用仮間仕切り	LGS下地	12.3	m2			
	工事用仮間仕切り	石膏ボード下地 (片面)	12.3	m2			
	仮設出入り口	0.8×2.0	2.0	ヶ所			
	小 計						

記号	<u>内訳明細書</u> 名称	型式・仕様・寸法	数量	単位 単価	金額	備考
	電気設備工事					
	电水灰州工学					
1	電灯・コンセント設備		1.0			
2	火災報知設備		1.0	式		
3	多目的トイレ電灯・コンセント設備		1.0	式		
4	多目的トイレ トイレ呼出表示設備		1.0	式		
	Δ ∃L					
	合 計					

	内訳明細書	T	Т	- 1			
記号	名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	電灯・コンセント設備						
	1種金属線び	MM1A	8. 0	m			
	1種金属線ぴ	1ヶ用スイッチホ゛ックス A型	4.0	個			
	1種金属線び	コーナーホ゛ックス A型	4. 0	個			
	アウトレットホ゛ックス(樹脂製)	102° x 44	1.0	個			
	ケーフ゛ル	EM-EEF1.6 - 2C MM1A内	1.0	m			
	ケーブ゛ル	EM-EEF1.6 - 2C コロカ゜シ	2. 0	m			
	ケーフ゛ル	EM-EEF1.6 - 3C コロカーシ	2. 0	m			
	ケーブ・ル	EM-EEF2.0 - 3C MM1A内	7. 0	m			
	ケーフ゛ル	EM-EEF2. 0 - 3C コロカーシ	36. 0	m			
	タンプ・ラスイッチ(金属プ・レート)	1P15A x 1	1.0	個			
	コンセント (金属プレート)	2P15A x 1 ET付	3. 0	個			
	照明器具 取外し	FPL36W x 3灯用 埋込型	1.0	台			
	照明器具 再取付	FPL36W x 3灯用 埋込型	1.0	台			
	照明器具 取外し	FPL55W x 4灯用 埋込型	1.0	台			
	照明器具 再取付	FPL55W x 4灯用 埋込型	1.0	台			
	誘導灯 取外し	B級	1.0	台			
	誘導灯 再取付	B級	1.0	台			
	接続費	ELB2P50/20AT	2. 0	ケ所			
	壁貫通及び補修ケ所	φ32、壁厚さ100~150mm	4. 0	ケ所			
	小 計						

<u>内訳明細書</u>		T			1	
名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
火災報知設備						
1種金属線び	MM1A	3. 0	m			
1種金属線ぴ	コーナーホ <sup>*</sup> ックス A型	1. 0	個			
ケーブ゛ル	EM-AE1.2 - 2C MM1A内	1. 0	m			
ケーブ゛ル	EM-AE1.2 - 2C コロカーシ	4. 0	m			
ケーフ゛ル	EM-HP1.2 - 3C MM1A内	1. 0	m			
ケーブ゛ル	EM-HP1. 2 - 3C ⊐рħ°ў	2. 0	m			
煙感知器	3種	1. 0	個			
壁貫通及び補修ケ所	φ32、壁厚さ100~150mm	1. 0	ケ所			
防火区画貫通処理	39 Ф	1. 0	ケ所			
電話用コンセント	撤去	1. 0	個			
カバープレート(金属製)	角型	1. 0	個			
小 計						
	名称         火災報知設備         1種金属線び         ケーブル         ケーブル         ケーブル         ケーブル         煙感知器         壁貫通及び補修方所         防火区画貫通処理         電話用コンセント         カバープレート (金属製)	名称 型式・仕様・寸法  火災報知設備  「種金属線び MM1A  「種金属線び Jーナーボックス A型  ゲーブ・ル EMーAE1.2 - 2C MM1A内 ケーブ・ル EMーHP1.2 - 3C MM1A内 ケーブ・ル EMーHP1.2 - 3C Jロカ・シ 煙感知器 3種 壁貫通及び補修ケ所 ゆ32、壁厚さ100~150mm  防火区画貫通処理 39 Φ 電話用コンセント 撤去 カハ・フ・レート(金属製) 角型	大災報知設備  1種金属線で MM1A 3.0  1種金属線で コーナーボックス A型 1.0  ケーブ・ル EM-AE1.2 - 2C MM1A内 1.0  ケーブ・ル EM-HP1.2 - 3C MM1A内 1.0  ケーブ・ル EM-HP1.2 - 3C MM1A内 1.0  ゲーブ・ル EM-HP1.2 - 3C MM1A内 1.0  佐盛知器 3種 1.0  壁質通及び補修り所 ゆ32、壁厚さ100~150mm 1.0  防大区画貫通処理 39Φ 1.0  電話用コンセント 撤去 1.0  カバ・ーブ・レト(金属製) 角型 1.0	名称 型式・仕様・寸法 数量 単位 大災報知設備	A 条	大久報知設備

	<u></u>						
記号	名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
3	多目的トイレ電灯・コンセント設備						
	アウトレットホ゛ックス(樹脂製)	102° x 44	2.0	個			
	アウトレットホ゛ックス(樹脂製)	102° x 54	1.0	個			
	ケーフ゛ル	EM-EEF1.6 - 2C コロカーシ	5. 0	m			
	ケーフ゛ル	EM-EEF1.6 - 3C コロカーシ	8.0	m			
	タンフ゛ラスイッチ(金属プレート)	1P15A + 1P15A PL付	1.0	m			
	照明器具 取外し	FDL13W x 1灯用 埋込型	3. 0	台			
	照明器具 再取付	FDL13W x 1灯用 埋込型	3.0	台			
	照明器具	LRS1-08	1. 0	台			
	ケーブ・ル 撤去	EM-EEF1.6 - 2C コロカ゜シ	3. 0	m			
	ケーブ・ル 撤去	EM-EEF1.6 - 3C コロカーシ	6.0	m			
	タンフ゛ラスイッチ(金属プレート) 撤去	1P15A x 1	1.0	個			
	タンプ・ラスイッチ(金属プ゚レート) 取外し	1P15A x 2	1.0	個			
	タンプ・ラスイッチ(金属プ゚レート) 再取付	1P15A x 2	1.0	個			
	エアコン用スイッチ 取外し		1.0	個			
	エアコン用スイッチ 再取付		1. 0	個			
	接続費	換気扇	1. 0	ケ所			
	小 計						

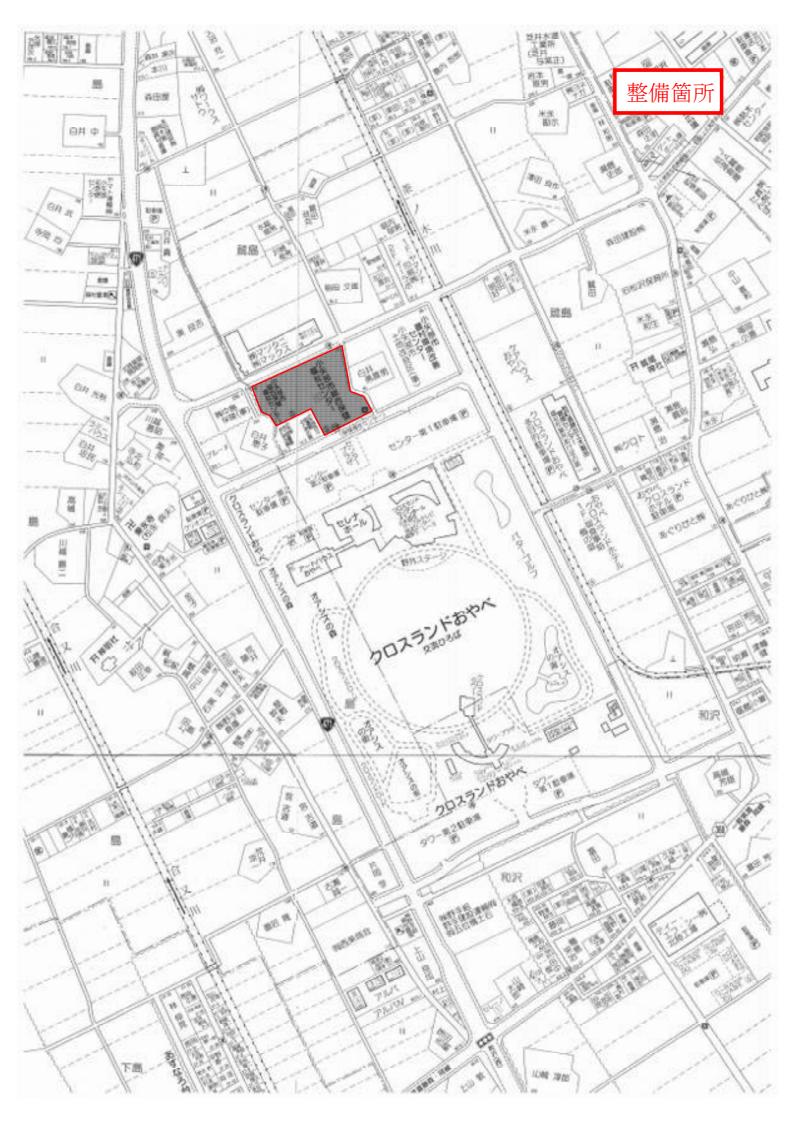
	内訳明細書					1	
記号	名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
4	多目的トイレ トイレ呼出表示設備						
	アウトレットホ゛ックス(樹脂製)	102° x 44	4.0	個			
	ケーフ゛ル	EM-AE1.2 - 3C コロカ゛シ	9. 0	m			
	ケーフ゛ル	EM-AE1.2 - 4C コロカーシ	17. 0	m			
	ケーブ゛ル		5. 0	m			
	呼出ボタン		1.0	台			
	復旧ボタン		1.0	台			
	廊下表示灯		1.0	台			
	呼出表示器	1窓用	1.0	台			
	小 計						

	内訳明細書		1				
記号	名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
M	機械設備工事						
1	トイレ改修		1.0	式			
	合 計						

訳明細書		Ţ ,			1	
名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
トイレ改修						
衛生器具設備						
洋風大便器	CFS498BM TCF587S YH650	1.0	組			
洗面器	L210C TENA41A TL250D TLDP2201J	1.0	組			
鏡	YM3545F	1.0	枚			
洋風大便器	CFS498BM TCF587S YH650	3. 0	組			
リモデル工法		3. 0	組			
既設撤去費	和風大便器 FV式	1.0	組			
既設撤去費	手洗い器 L-220	1.0	組			
既設撤去費	鏡 TS119AS-3	1.0	枚			
既設撤去費	化粧棚 S-3	1.0	個			
				_		
	トイレ改修 衛生器具設備 洋風大便器 洗面器 鏡 洋風大便器 リモデル工法 既設撤去費 既設撤去費	トイレ改修         衛生器具設備         洋風大便器       CFS498BM TCF587S YH650         洗面器       L210C TENA41A TL250D TLDP2201J         鏡       YM3545F         洋風大便器       CFS498BM TCF587S YH650         リモデル工法          取設撤去費          既設撤去費       和風大便器 F V式         既設撤去費       手洗い器 L-220         既設撤去費       鏡 TS119AS-3	トイレ改修       衛生器具設備         洋風大便器       CFS498BM TCF587S YH650       1.0         洗面器       L210C TENA41A TL250D TLDP2201J       1.0         鏡       YM3545F       1.0         洋風大便器       CFS498BM TCF587S YH650       3.0         リモデル工法       3.0         既設撤去費       和風大便器 F V式       1.0         既設撤去費       手洗い器 L-220       1.0         既設撤去費       第決い器 L-220       1.0         既設撤去費       第次い器 L-220       1.0	トイレ改修       衛生器具設備         洋風大便器       CFS498BM TCF587S YH650       1.0 組         洗面器       L210C TENA41A TL250D TLDP2201J       1.0 組         鏡       YM3545F       1.0 枚         洋風大便器       CFS498BM TCF587S YH650       3.0 組         リモデル工法       死設撤去費       和風大便器 F V式       1.0 組         既設撤去費       手洗い器 L-220       1.0 枚	トイレ改修       (有生器具設備)         第生器具設備       (FS498BM TCF587S YH650 1.0 組         洗面器       L210C TENA41A TL250D TLDP2201J 1.0 組         鏡       YM3545F 1.0 枚         洋風大便器       CFS498BM TCF587S YH650 3.0 組         リモデル工法       3.0 組         既設撤去費       和風大便器 F V式 1.0 組         既設撤去費       手洗い器 L-220 1.0 組         既設撤去費       第 TS119AS-3 1.0 枚	トイレ改修       (株理器具設備)       (株理器具設備)       (大学 498BM TCF587S YH650)       1.0 組       (株理器)       (大変を持ちます)       (大変を持ちます)

記号	<u>1訳明細書</u> 名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	
па - у	給水・排水設備	170 1100 1100	3A.II	712	<del>-</del> - іш	3E 19X	ин J
		ET DD 004	2.0				
		便所 PB 20A	3.0	m			
	耐火 2 層管	便所 VP 100A	2. 0	m			
	耐火2層管	便所 VP 75A	3. 0	m			
	耐火2層管	便所 VP 40A	3.0	m			
	床上掃除口	COA75	1.0	個			
	コア抜き	125 φ -150L	2. 0	ヶ所			
	コア抜き	50 φ -150L	3. 0	ヶ所			
	既設管切断接続	鋼管 25A 保温あり	1. 0	ヶ所			
	既設管切断接続	塩ビ管 100A 保温無し	1. 0	ヶ所			
	既設撤去費	便所 鋼管 25A	2. 0	m			
	既設撤去費	便所 鋼管 20A	5. 0	m			
	既設撤去費	便所 耐火 2 層管 100A	3. 0	m			
	既設撤去費	便所 耐火 2 層管 75A	1. 0	m			
	既設撤去費	便所 耐火 2 層管 40A	2. 0	m			
	既設撤去費	床上掃除口 COA100	1. 0	個			
	既設撤去費	保温 給水管 25A グラスウール	2. 0	m			
	既設撤去費	保温 給水管 20A グラスウール	5. 0	m			

記号    名称	型式・仕様・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
換気設備						
既設品取外し	ファンコイルユニット	3.0	台			
既設品取外し	天井換気扇	1.0	台			
既設品再取付	ファンコイルユニット	3.0	台			
流量調整弁	20A (ファンコイルユニット用)	3.0	個			
レターンコック	20A (ファンコイルユニット用)	3.0	個			
既設品再取付	天井換気扇	1.0	台			
合 計						



# 総合保健福祉センター「タワーの湯跡」改修工事

	図	面リスト	
A - 0 1	特記仕様書(改修用) 1	A - 1 6	改修後 2階展開図(1)
A - 0 2	特記仕様書(改修用) 2	A - 1 7	改修前 2階展開図(2)
A - 0 3	特記仕様書(改修用) 3	A - 1 8	改修後 2階展開図 (2)
A - 0 4	配置図 付近見取図	A - 1 9	改修前 2階展開図(3)
A - 0 5	内部仕上表 面積表	A - 2 0	改修後 2階展開図(3)
A - 0 6	1階 改修前平面図	A - 2 1	建具表
A - 0 7	2 階 改修前平面図	A - 2 2	改修後 天井伏図
A - 0 8	3階 改修前平面図		
A - 0 9	改修後 2階平面図	E - 0 1	特記仕様書 (電気設備)
A - 1 0	男女便所洋式化改修平面図	E - 0 2	改修後 2 階電気設備配線図
A - 1 1	多目的便所改修平面詳細図	E - 0 3	多目的トイレ改修電気設備配線図
A - 1 2	パントリー改修平面図	M - 0 1	特記仕様書(機械設備) トイレ改修図
A - 1 3	玄関改修平面図		
A - 1 4	2階照明器具配置・天井伏図・サイン詳細図		
A - 1 5	改修前 2階展開図(1)		

図面枚数 27 枚 (図面リスト含む)

2 - 工事場所	接着機器   524,70m   x2   超4面機   102   102   102   102   103	① 寮生駅の処理等  ② 家様工事等  ③ 電気管安技術者  ① 電気管安技術者		② エ専写真 ② 五草写真 ② 加工図等の改良(*) ② 電子納品 25 東洋ゴムを工品(情) およびニックを工! (情) の製品および!			適用工事協別
1 建築工事任報 1 共連任総 1 共連任総 1 共連任総 (2 電気影響工事品)では定律様と (2 電気影響工事及び 海州する 2 情紀性線 (1)項目に、番号にOI	服安全性のの無 ・ 選挙は、1至 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	(1) エ専用水 (12) エ専用電力 13 エ専用仮設物 (4) 施工機械 (3) 現場代理人の工事現場	耐剤操作の認定 深利用できない	29 貯蔵な原設トイレル 貯蔵工事	選択状態での試験(実際試験) 影響と 単正量 密引体機関 送伸び 動を含状態	<ul><li>(3) 技術協業</li><li>7 室内変集中の化学・の温度測定</li></ul>	正規工事 ・ ビル明が9地工作業 ・ 白田が19地工作業 ・ 1912年令業
●印の付かない場合	かけいたものを適用する。 出に、第四のけいたのを適用する。 と場合は、共に適用する。 特 記 事 項	(3) 調査 試験に対する 協力 (3) 工事特性・創度工夫 社会性等の実施 (3) 暴力団関係者から不当 な介入を受けた場合の 指置	「富山県北本工町共和社権等」に一つ2 工事のの安全機能 会丸工事労務資産等の対象工事として無合は、整督機長の認示により必要な協力をしなければ むらない、信山県土本工町支租仕権等「一一13 受主者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら企業実施した製産工夫や技術力に関する 項目、または地社性外の収集として労働できる場合に関する事業にして、工事工業が対すった「富 山県政府工事及経済学業の保険が別点に関かる情報だより支援があることができる。 受法者は、末年を経工するに出たり、公力団関係がから不成かを受けた場合は、新聞として	30 選体9日射モデルエ	事 選供2日射モデル工事の実施にあたっては、「選休2日射モデル工事(選絡工事)延齢者後、 (今和2年7月 選出場工業的に基づくめのとする。この政行業理は、選出場工業施業機関のル ムページから入事できる。(http://www.prof.toyams.jp/cms.secjienfs.jp/cmg/11/2.bcml) ・選か2日射モポル工事(発注を指定型) 本工事は、表す方施製と自の実施を受かる存在とするものである。 ・選休2日射モデル事業」(大理業者運動)	<ul> <li>③ 設備工事との取合</li> <li>③ 設計GL</li> <li>② ① 足増その他</li> </ul>	接取 ジェトロフェールド・ラジン 類様吸物/写典地址法 分配 表定業分フロマトララフ(HPLD) ガスクロマトラフ法 実施型はカップン型接換機能により行う。 シ 開催機の企画、数を1年の幹計できる際工廠を提出し、監督報何の承諾を受ける。 ※ 記示
① 丁平実施情報の急機 ○ 1 対解機の加速 ○ 1 対解 ○	本工事を下物けに付す場合は、「設立工事の下無限態の選定に出身で設備事項」と選挙すること。 「無国建工工事の基地性者」に一十位人人保留取物に加まれました。 (1) 練製物内部に使用する材料等は、設計線率に変する所限の必要及び出版を有すると外に、次のこから必要な力を対しませた。 (2) の	③ 無人机となった場合に おける技術者の場員等	連合のMCイの音を報ぎるよう知識し、下端集者が小能を受けた大流者は、ほかのドでの資を整 環に指摘するとは、「製作温前であれれなからない。 1 上手に移る人札の回義、資産条件部所に高かない情報をもって入れるした者が受走者となった場 市に対ける経費の配差については、支利用が不場のの扱うにない。それぞれが生活をとなった。 6。 1 日本に移る人札の回義、資産条件部所に高かない情報をもって入れるした者が受走者ととかよる。 6。 1 日本に対しては他の数を注かっていると思います。 1 日本に対しては他の数を注かったいると思います。 1 日本に対しているというでは、国内のでは、日本に対しているというでは工程域では 1 日本に対しているというでは、日本に対しているというでは、日本に対しているというでは工程域では 1 日本に対しているというでは、日本に対しているというでは、日本に対しているというでは、日本に対しているというでは、日本に対しているというでは、日本に対しているというでは、日本に対しているのでは、日本に対しているというでは、日本にでは、日	31 余裕州明明汉	本本事は、受益者が工業等子目前に、発出者に対して、工事打合せ海にて直体2日に取り組む省を設したガスを以替しなのである。  淡温供2日制モデルル業ではない。	第二 第一 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二 第二	が封知権・強別・金利を担当。 くさり 政策支援権・管理 本産権・ ・ 計算組織の設備にあっては、「下学り内に工法に対す ドライン」について」(弾生労 者 高素質が200019年度には自身2011)」の「平ケリカド工法等に対する ジイドライン」の別様 ドラリカビエルようを集め出ては「開発する連測・における力の ジキサリ報告方式及は(の) がり支付き期に最小女はより行う。 の第一が多したはような音を の数値が多した。 選生シー・ おけび重生シー・ のきシー・ あきか 18 を設置しない ・ のま・ 出入日等の上部は必要にかにも防機器を抜ける。 ・ 設置しない ・ のま・ 出入日等・ 日本日 ・ 日本
③ 材料の品質等	② 選挙基準地所作者が認めて著「場に定める第三排引ルスケルデトと開始登録材料 (1) 本工事に使用する材料は、設計器響に認める最及び打燃の者、資本有すべる品質者が対策を 利するものとして、設計器等に認める品質なび打燃の者、資本有すべる品質者が対策を 利するものとして、設計器等に認める場合を使用するものとし、即等品を使用する場合 は監督の必要を分する。 (3) 衛生に記載されていない特別な材料の工法については、材料維護所の設定する工业とする。 (4) 本工事に使用する材料のう。 (5) 本工事に使用しておける対象では、対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対象が対	22 近接して工事を発注する場合の取扱いについて	議会工事 - 前期部の試験(7,6,11) - 15.91	② 適用基本等 ② 適用基分 ③ 施工条件 ④ 建築材料等	第 重文・中年の共和国に大学者が上記する「「本語の事業」を終了している。 第 直文の表示を開催して、実際として、事業を表現して、「中国が実施等」によるこの事業機能 の 第 100 元年 100		・公司         市区         ・10月シート           企設房         ・公司         ・173         市局           企設房         ・公司         ・公司         ・173         市局           ・・公司         ・公司         ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
<ul><li>① 地場産品の電免 使用等</li></ul>	② 原産、塩甲金の富貴州を与着ではなった。 ③ 原産、塩甲金の富貴州を与着ではなった。 ③ 製造書巻に関する資料の出生ありな計算 毎日本の金月・日本・成果の大学・日本の金月・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	23 総合評価方式	<ul> <li>競力者は、実際の終土に関しては、事件に当せし返記とされた対象資料(技術開発業文は原本を 施工計画)の所容を指すること。</li> <li>労力者は、事業に関出した場合等の式に係る技術資料に関した配差予定技術者を認可してけ おばららない。</li> <li>上記と知ると優性できない場合及び受法者が参加に関した配差で表す場合を表現してけ 上の内容に通の場合があった場合においては、宣和機会に事務が構造が構造が表する。</li> <li>上記と知ると選手を 本本事な「登録的技術技術の深ま」を別して採り工事を分、実を達成、下記を計画が、 支援的技術を表しまする場合は、あらかしの主工計画書により、全体を有機や経営予定期間、作業 は終めは接合を記載する場合は、あらかしの主工計画書により、全体を有機や経営予定期間、作業 が開業を発生されていまった。最初が概念であり、場合、国場の外末を集合情報が支払行業等に が発生することとなる。のは、最初が概念であり、場合、国場の外末を集合情報が支払行業等に が発生業 へのス・「口工」へのユエ の工事は「下記を提供して、会社で、会社で、会社で、会社で、会社で、会社で、 が表して、会社で、 のフェ「口工」へのエ の工事は「下記を提供します」を終め、またり、実施の関係とした紹介事である。後工事 と対策は実施したが、実施されて、会社では、これでは、 と呼吸が表した。となり、大規をの事態に関して、を終め、対象とした紹介事である。後工事 と対策は実施したが、実施されて、会社で、会社で、会社で、また、実施の受し、場合で、 と世間により、人材料の事態に促して、第二回に属内企業の活用ができなかった場合には、工事成 物学会在きる点点する。</li> </ul>		に私いて要素制ガループに扱うされている製造を利用する。  一		
		② 完成回等	業者工程表本 河田縣 部 ・総小祭 版 部 田 東京周野本 (電景形 ) - 東京周野本 (電景形 ) - 東部		中川連築設計事務所 <sup>256</sup> お今保修証はセンター「タワーの電路、7		2021#68 B 1: * H H H H H H H H H H H H H H H H H H

# 1	# P1		外壁改修工事	<b>北部设用材料</b>	■名の対策七上が日本物洗水を開業(化上が日本等表表開)  ② ひび掛んの経及び含を製画に表示する。また、ひび動れ始のを貼の有象、源水の有限及び 本限及び掛けの混めの存用を見聴する。 コンクリート、モルタル及びタイル場のががれ及びほく清極を型曲に表示する。 モルタル及びタイルの消を動から繋出に表示する。 モルタル及びタイルの消を動から繋出に表示する。 モルタル及びタイルの消を動かり繋出に表示する。 オと、実際が開発を開催した場合しませます。 第1、 原産部屋・雑食工具・材との適合性を保護する。 類目 自作性変化が加えた。 日本の (10 年間 1 年間	4 1 2 7	浮音部改物工法	た場片 1 元本シ側能をルタル - ボリマーセメントモルタル      ・エキ・カーを構立 1 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元
間定金角の母類及が可染料を が深められていました物質を関した機能、ステンレス機能及びそれらの介置又は関密に関節を検察	- AS-T4 場の近上 - AS-T3 場の近上 - AS-T3 場の近上 - AS-T3 場の近し上 - AS-T3 場の近し上 - AS-T3 場の近し上 - AS-T4 場の近上	治療政権を担任を対している。   日本を付け、   日本の   日本の	コンクリート打放し仕上げ外壁改修工事 2 1	ひび割れ部改修工法 欠級部改修工法 既存モルクル塗りの 報告 ひび割れ部设修工法	関係をモルクル	展 3 ) 土土 上 デ 1 ・ 連 2 ~	交換都漆像工法 浮き御漆像工法 タイルの形状、寸法等	
校気差徴の階域及び設置数量	要り戻さ 主義リ工法 下地域上がのより モルタル電り モルタル電り モルタル電り モルタル電り モルタル電り エルタル電り ※ 回転性なる。 ※ 回転性なる。 ※ 回転性なる は では ロッド				<ul><li>可とう性エポキシ樹脂 JIS A 6024による</li><li>シール正法</li><li>シール材料 バラヴェボキシ樹脂</li></ul>	6	目地改修工法	タイルの試験後り ※行わない 行う 目地ひび割れ部改修工法 ・仲級国際目独定修工法

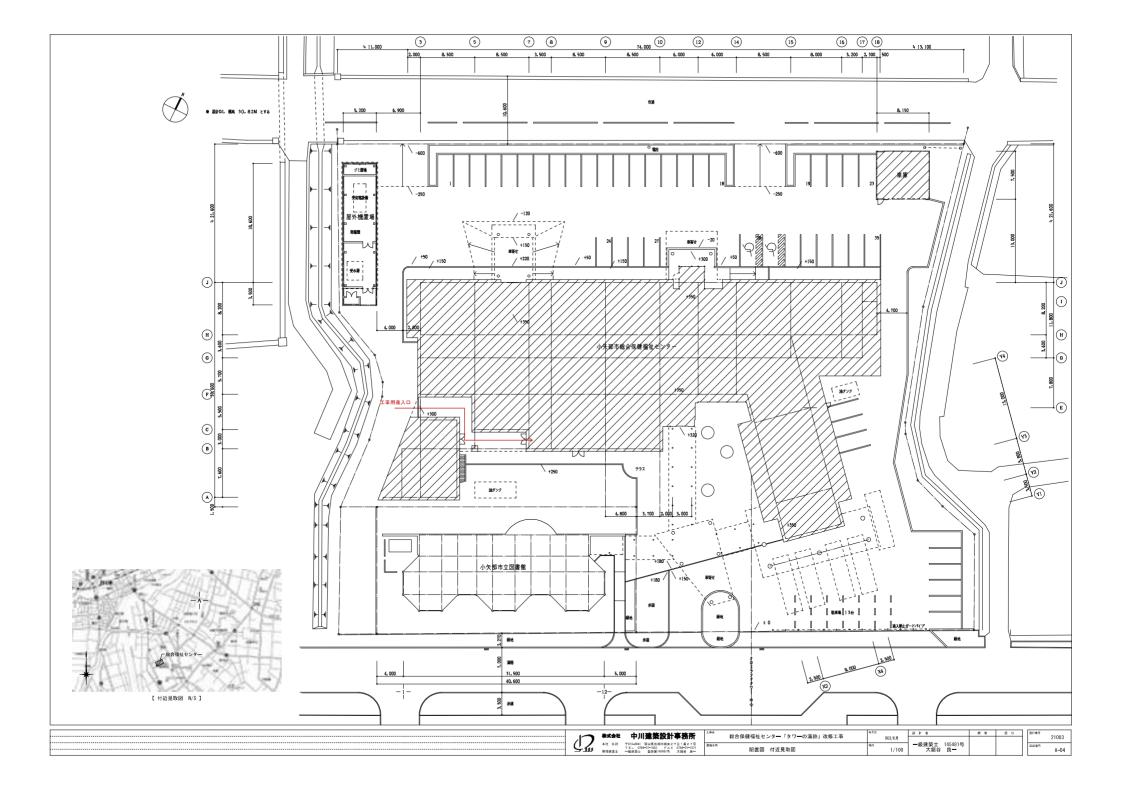
1	株式会社	中川建築設計事務所	TBS
CT型	本社 住所 管理就築士	〒933-0041 富山県高岡市城東2丁目1巻27号 TEL 0766-21-1090 FAX 0760-21-1371 一線建築士 登録第145481号 大館谷 泉一	umen-

0 A D T T T T T T T T T T T T T T T T T T	*#B	数 計 章	班 查	88 16	]	装計器号	
総合保健福祉センター「タワーの湯跡」改修工事	2021年6月				Ш		21003
特記仕様書(改修用) 2	模尺	一級建築士 登録第145481号 大銀谷 良一				回面 8 号	A-02

4-5 1 既存塗液等の除去、 塗 下地処理及び下地			下地面の種類 下地誤整の種別 ひび割れ部の補修	3 連続機能シート巻き	材料・形状 復用した工法の規定を選足するもの 材質 引得り情度(含浸膏化株) ・2500 N/m2以上		測定方法 ・自動剤定義による測定
i) Passanas o Pass	サンダー工法 ・図示 ※既存仕上面全体 ひび割れ部改修工法				- 3000 N /mm2以上		湖定名称 湖定方法
±	高圧水洗工法 回示 ※既存仕上面全体 浮き部改修工法 ・塗摘はく離剤工法 図示 ※既存仕上面全体 欠損部改修工法		放銅面 ※RB種 ・ ※RA種		ヤング係数(含浸硬化後) - 2.35×10°5N/mm 程度 - 2.00×10°5N/mm 以上		<ul> <li>測定 4 粉じん相対療度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、</li> <li>測定 5 繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じ</li> </ul>
er	- 水洗い工法 - 図示 ※既存仕上面全体		亜鉛のつき面     ※RB種     ※RB種       亜鉛のつき面(類製建具)     ※RB種     ※RC種		工法 ※ (一財) 日本建築防災協会の評価を受けた工法		んを迅速に測定できる機器を用いた測定
外 2 下地調整材 型 2 下地調整材	※下地調整塗材		モルタル面、ブラスター面 ※RB種 RA種 RB種 行う 行わない		下地調整 ひび割れ部の改修工法の種類		<ul> <li>JIS K 3850-1に基づいた測定</li> </ul>
改	ポリマーセメントモルタル (4-1.1による)		コンクリート面(DP以外)、 ※RB種 ※RA種 ・行う ・行わない ALGパネル面		・樹脂注入工法 ・Uカットシール材充填工法 ・シール工法		測定名称 メンブレンフィルタ 試料の吸引 試料の吸引 直径 (m) 流量 (l/nin) 特爾 (nin)
修 3 仕上げ塗材仕上げ 工	種類、仕上げの形状、工法 種 類 呼び名 仕上げの形状		押出成形セメント板 ・RA種 ・RA種 ・RA種 ・RA種 ・ 行う ・ 行わない		柱の脳角部の面取り ※工法の評価内容による		. NO 4 .
18	- 薄付け仕上塗材 - 外装薄塗材S: 砂壁状		R C種		連続機械補強材の引張治度試験		激定 5 5 30
	可とう秘外装簿塗材S ゆず肌状(・ローラー 吹付) 外装薄塗材E さざ波伏		せっこうボード面及び ※RB種 RA種 RB種		引強強度試験 ※JIS A 1191(コンゲート用連続繊維テトの引張試験方法) による 試験效量 ※国示		- 湘定 47 10 120
	- 可とう彩外装薄塗材目 - 著色骨材砂壁状(・吹付 こて) - 防水粉外装薄塗材目 - 加み世		その他ポード面		連続機構維持の付着効度試験		- 測定 47 10 240
	防水形外装薄塗材E 凹凸状 外装薄塗材S	3 新止め塗料塗り	領止め塗料の種類 ※JIS K 5674 ・		付着強度試験 ※JIS A 6909(建築用仕上塗材) による 試験数量 ※図示		- 測定
	原付け仕上塗材 外装厚塗材 C 吹放し 凸部処理 平たん状		塗装面   塗料 工程	4 あと施工アンカーの	穿孔皴梭		·
	外装厚塗材Si		EP-G以外 新規鉄側面見え掛り ※A種 ※A種 新規取削面見え掛り ※A種 ※D種	穿孔	※ハンマードリル コアドリル 穿孔前の既神鉄前及び埋込み配管・配縁等の接査		石綿含有建材の処理
	<ul> <li>被層仕上塗材</li> <li>複層塗材E</li> </ul>		遊替兒 ※B種 ※C種		範囲 ※あと施工アンカー施工部分全て ・図示		- 石轄含有吹付け材の除去
	- 被耐急材RE ゆず乱状 凸部処理 凹凸状 - 複層急材CE 耐快性 ※耐候粉3種		EP-G 斬規規網面見え掛り ※日種 ※A種 新規見え隠れ ※日種 ※B種		方法 ※鉄筋接査器 (金属探知機) により接査し、鉄筋、配管等の位置の墨出しを行う 鉄筋探査器の接査力式		除去対象範囲 ※回示 除去工法 ※改修福任9.1.3(2)(7)による
	- 被原塗材 S: - 複原塗材 E 上塗材		EP-GU外 塗替え ※A種 B種 ※C種		・電磁波レーダー法 (3 D表示対応型)		除去した石線含有吹付け材等の処理 ※密封処理 ※湿潤化 国形化 石線含有保温材等の除去
	複磨塗材E 上塗材 複磨塗材RE 溶媒 ※水系 溶剤系 弱溶剂系		亜鉛めっき面 新規放網面見え掛り ※A種 B種 ※A種		・電磁波レーダー法又は電磁誘導法 ・はつり出しによる		除去対象範囲 ※回示
	可とう形複層塗材CE 樹脂 ※アクリル系 ・複層塗材RS 外製 ※つやあり つやなし		新規鉄鋼面見え掛り ※C種 ※A種		既存コンクリートの不良箇所の確認		除去工法 ※改修標任9.1.4(3)による (原形のまま、手ばらしが可能な場合) 改修模性9.1.3(2)による (振客のまま、手ばらしが可能な場合)
	- 複層塗材RS 外観 ※つやあり つやなし - 防水形被開塗材CE メタリック	④ 塗装	金装の種類 塗装面 工程		※アンカー終工部位の既存コンクリート日荒し後、日視及び打診により状況を確認し、 じゃんか等不良箇所を発見した場合には、監督戦員と協議すること。		除去した石締含有吹付け材等の処理 ※密封処理 ※湿潤化 ・固形化
	- 防水形板層塗材E - 防水形板層塗材E - 防水形板層塗材E (透湿型) を使用する場合の	_	<b>塗替え</b> 新規	5 あと施工アンカーの	試験方法		<ul><li>石総含有成形板の除去</li><li>除去対象範囲 ※図示</li></ul>
	(清潔型) 所要量		合成樹指調合ペイント塗り   木部屋外   ※B種   ※A種	施工確認試験	引張試験		<ul><li>石總含有外壁塗装材の除去</li></ul>
	- 防水移線陽塗材RE ※メーカー推奨所変量による ・ 可とう系改修用 ・ 可とう系改修連材E ・ 平たん状 ・ さざ波 ・ ゆず肌状		差料の種別 鉄銅面 ※B種 ※B種 A種		1 ロット ※1 日に施工されたものの径及び仕様ごと 試験価所数 ※3 本/ロット		除去対象範囲 図示 除去工法 石線刷第6条のただし書きにより、粉じん飛散防止に関し隔離措置と
	仕上塗材 ・可とう系改修塗材RE 耐候性 ※耐候形3種		** 1種 2種 亜鉛めっき餌面(調製建具) ** A種 ** ** B種 亜鉛めっき餌面(調製建具以外) ** 8 P種 ** 8 P種 ** 8 P種	(A) 18 # (A) 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18			同等の指置と判断できる工法
	可とう系収修能材CE		- クリヤラッカー塗り(CL) ※B種 A種 ※B種 A種	⑥ 鉄骨の鎌止め塗装	### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		注) 工法の詳細は、「建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上 塗材からの石穂粉じん飛散防止処理技術指針(平成28年4月28日 国立研
			フタル酸樹脂エナメル塗り(FE) - アクリル樹脂非水分散型塗料塗り(MAD) ※B種 A種 ※B種 A種		鉄銀面 ※A種 B種 屋外、屋内 亜鉛めっき面 ※A種 B種 C種 屋外、屋内		交開発法人建築研究所・日本建築仕上村工業会) 」による。
	外戦 水つやあり つやなし メタリック		耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 上塗り等級 ( )級 ※A種		斜裂スリーブの ※A種 ・B種 鉄骨に浴接されたものに限る	2 1/750119-055197740'-00	
	防火材料 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた材料とする。		亜鉛めっき銀面 ※A種 上塗り等級 ( ) 級		内侧	処理	※リフラウナリーセウミックファイバー含有建材の事前調査
4 マスチック塗材仕」	LIT 福利 A福 B福		コンクリート面及び押出成形セカト板面	7 既存コンクリート面の			工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりリフラクトリーセラミックファイバーを含有している 建築材料等の使用の有無について調査する。
5 外壁用塗膜防水材象	をり 外盤用塗機防水塗り		つや有合成樹脂エマルション 20/9F/直等     ※B種 ※B種 ※B種 ※A種       ペイント塗り(EP-G)     屋内の木部 ※B種 ※A種	日荒し	※既存コンクリートとの打除ぎ面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん能の接合面		調査範囲 ※図示
	仕上げの形状 工法 外壁用仕上塗材の耐候性 ※JIS A 6909 の耐候性1種相当		屋内の鉄鋼面 ※日種 ※日種 A種		•		貸与資料 ( ) 除去処理対象物
	下地学励緩衝材の適用 適用する 適用しない		個内の重鉛めっき目面		目荒らしの程度 ※柱・梁面 打継ぎ面又は接合面全面の15~30%程度		除去対象範囲 ※国示
	吹付け工法の模様材の種類         所要量         [kg/m²]           外壁用仕上塗料の種類         所要量         [kg/m²]		合成樹指エマルション模様塗料塗り(EP-T) ※B種 ※B種 A種		※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の10~15%程度		除去方法 ※図示 処分 ※埋立処分(安定型最終処分場)
	71 20 71 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20		<u></u>		目落らしの範囲	<ul><li>③ ガラス改修工事</li></ul>	板層ガラス
③ ① 改修工法	改修工法 適用値所		・木部保護後料後リ(WP) ※B種 A種 ※B種 A種		※平均保さ 2~5mm で最大保さ 7mm 程度の凹部を全体にわたって施す	ľ	材料板ガラスの種類及び厚さの総合せ並びに復居ガラスの厚さ
Ä	かがせ工法 ※建具表による 搬去工法 ※建具表による		EP-G差り (20分-F高、もが高、パリステ面、セッこうが・デ面、その他が・デ面) の塗替えの場合のしみ止め ※収修模性 表7.9.1の工程 1の下塗りをしみ止めシーラーとする	8 コンクリートの打込み	都位毎のコンケリートの打殺工法の指定		・建果表による 断熱性による区分
ά (f)			EP塗りの塗替えの場合のしみ止め	工法等	整位毎のコンクリートの打設工法の指定   構成工法   打設工法   部位   現場打ちコンクリ 工法指定なし   全ての贈放壁   図示による		-T1 -T2 -T3 -T4 -T5 -T6
エ ② ガラス用フィルム	建類   記号   日射調整 その他性能等     衝撃破壊対応ガラス   ※ 61-1(内張り) あり		※改修福仕 表7.9.1の工程 1の下塗りをしみ止めシ―ラーとする		- 現場打ちコンクリ - 工法指定なし - 全ての増設壁 - 端示による ト壁の増設工事 - 読込み工法8.21.8(1)(7)(2) - 全ての増設壁 - 優示による		日射取得性、日射遅へい性による区分 6 S
#	飛鞍防止フィルム G1-2 (外張り) A B C	1 1 あと施工アンカーの	あと施工アンカーの材料		- 圧入工法 8,21.8(1)(ア)(3) 全ての増設壁 図示による 図示		乾燥気体の種類 (1007)
		付の 材料 比略	・金属拡張アンカー		鉄筋コンクリート 工法指定なし 全ての増設壁 図示による	4 断熱·防露改修工事	空気
		z (#	セット方式 ※本体打込み式改良型 ※接着系アンカー		柱の溶接金網巻き - 流込み工法8.21.8(1)(7)(2) - 全ての増設壁 - 図示による 及び溶接閉鎖フー - 圧入工法 8.21.8(1)(7)(3) - 全ての増設壁 - 図示による	4 BLW - Note Orde Trib	断熱材は、原則として「関等による環境物品等の課達の推進等に関する法律」における特定 原連品目を使用する。
		F改 1.修	セット方式 ※カブセル方式 (・回転打撃型 ・打込み型)		及び溶接回線 ノー ・ 住人工法 8.21.8(1)(ア)(3) ・ 全ての地数壁 ・ 國示による		ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹檎又はメラミン樹脂を使用した
		i I	注入方式 (・現場調合型 カートリッジ型) 接着剤の品質 ※有機系 無機系		<ul> <li>工法指定なし</li> <li>・施込み工法8.21.8(1)(7)(2)</li> </ul>		断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 第三種
③ ② 基本要求品質	特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する ケ	Las	アンカー筋の種類 改修標任 表8.2.1の興形棒鋼 全ねじボルト		・ 胚込が上流8 (21.8(1)(ア)(3)		種 類 衆池材の種類 種 類 厚さ(mm) 施工箇所
N EASTER	村利のホルムアルデヒドの放射量 マニーター 大人 いじょういん 表面 すい 面質、 又は 裏面 で作成す も	´	既存コンクリートの不良個所の確認	9 スリットの施工	スリット部の配管等の探査		ドーズ 法本*リスチレンフォーム断熱材
* -	※規制対象外 第三種		※アンカー施工部位の既存コンクリートは目覚し後、目視及び打診により状況を確認し、 じゃんか等不良個所を発見した場合には、監督職員と協議すること。	3 X77110062	※鉄筋探査器(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管等の位置の亜出しを行う		(34)なし) 保温板(3種b) 25
故 像蛇田	既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う				鉄筋膵査器の探査方式 ・電磁波レーダー法 (3 D表示対応型)		- 現省ウレタンフォーム新熱材 ※A種
I .	○図示の範囲	-2   1 あと施エアンカーの  耐   材料	あと施工アンカーの材料 ・金属拡張アンカー (耐震補強用)		<ul><li>電磁波レーダー法又は電磁誘導法</li></ul>		ポリエチレンフォーム新熱材 フェノールフォーム新熱材
*	天井内の既存壁の搬去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※建面より開側600m程度とし、既存仕上げに導じた仕上げを行う	20	セット方式 ※本体打込み式改良型		・はつり出し スリット売填材		(3種2号除く)
	(・)図示の範囲	改修	※接着系アンカー セット方式 ※カブセル方式 (・回転打撃型 ・打込み型)		<ul> <li>耐火材 使用箇所及び仕様 ※図示</li> </ul>		
	既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま	±	注入方式 (・現場調合型 カートリッジ型)		<ul> <li>適音材 使用箇所及び仕様 ※國示</li> </ul>		工 法 断熱材現場発泡工法 断熱材の挿鎖 ※A種1又はA種1H B種
	回示の範囲	#	接着剤の品質 ※有機系 ・無機系 アンカー筋の種類 9	1 石綿含有建材の除去	<ul> <li>分析による石綿含有建材の調査</li> </ul>		厚さ(m) 25 30
③ 既存床の撤去、	ビニル床シート等の除去 ※仕上げ材のみ(接着削とも)		改修標仕 表8.2.1の興形将鎖 全ねじポルト 環		分析方法 ※ 定性分析はJIS A1481-1又はJIS A1481-2		施行箇所 ※窓図り等の断熱材補修部分、ルーフドレイン周りの床板下等、 部分的に後張りとしなければならない箇所
下地補修	下地モルタルとも (※図示の範囲 除去範囲全て) 合成樹阁塗り除材の除去工法 機械的除去工法 目荒工法		株産均しモルタル 境 ※無収縮モルタル (※改修標性8.2.12(1)(7)から(X)による) 配		定量分析はJIS A1481-3又はJIS A1481-4による。 分析結果については、監督職員に報告すること。		- 國示
	改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	2 モルタル及び	グラウト村		分析結果については、監督職員に報告すること。  材料名 採取場所 施所数 分析方法 ※ 室性や折 空帯や折		MORAL GOVERNMENT
④ 既存壁の撤去、	隣仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修	グラウト材	無収縮グラウト材の材質等 依		※ 定性分析 ・ 定量分析		- 断熱材後張り工法 断熱材の種類 ( )
下地補修	<ul><li>※図示</li><li>・モルタル塗り</li></ul>		混和材料 セメント系 (酸化カルシウム及びカルシウム・サルファ・アルミネート等に よって膨張する性質を利用するものとする ***		※ 定性分析 定量分析		断熱材の厚さ (
	仕上げ厚又は全差厚が25mmを超える場合の包置 ・適用する (範囲は図示)		セメント JIS R 5210 (ボルトランドセオント) による普通または早強ボルトランドセメントとする。		石綿粉じん濃度測定		ATTAC M. MOVIN ACCESS
	※ステンレス製アンカービンを、縦構 200mm 程度の間隔に打ち込み、ステンレスラス等を張る。 ・図示		砂 土木学会コンクリート標準示力書に定められた品質を有するもので、特に結 選されたものを絶対乾燥状態で使用する		※行う 測定置 ( ) 適 測定 別には ( )	5 屋上緑化改修工事	植栽基整及び材料 屋上級化軽量システム 適用する 適用しない
⑤ 軽量鉄骨天井下地	既存の埋込インサート 使用する 使用しない		ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。		用 名称 湖及時間 湖及場所 (各施工管所ごと)		芝及び地被疑の樹脂坐びに種類等 ※図示 見切材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示
1	あと施エアンカーの引抜き試験 行う 行わない 荷重 400N		無収縮グラウトの品質及び試験方法(現場調合形においては標準使用量・配合値)		測定 2 地理作業制 第二区面周辺又は敷地境界 4方向各1点		支柱 設置する(種類 図示 )
	<b>箇所数 当該階において3箇所程度 図示</b>		ブリージング 練り混ぜ 2 時間後のブリージング率: 2.05以下 34年間 3年間 1年間以上		別定3 是現作業室内 各1点 各2点 各3点 製度4 (株) 関係 メンスロ 条1点 条2点		かん水装置 設置する (工事区分は図示による) 既存保護層の撤去 行う
	天井下地材における耐震性を考慮した補強 ・行う 補強箇所 ※ 図示 補強方法 ※ 図示		終結時間 10時間以内		測定5 処理作業中 集じん 排気装置の排出口 集じん 排気装置各 1点		
10			無収縮性 材前 7日 収縮しない 圧縮強度 材前 3日 20N/m2以上		(処理作業室外の場合) 各1点 第正区面目辺又は敷地境界 4方向各1点	6 その他工事	スロープエ事 アルミスローブ (株 ミスギ) N905×L1500×H150×2台
① ###	建物内部に使用するユリア樹脂等を用いたホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 第三種		材能2.8日 40N/mm2以上		測定7 処理作業後 処理作業室内 各1点 各2点		樹脂木手すり アルミ心村 (三協テスリーフ) 壁付・床付
表	防火材料 ※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。		付着強度 材能2.8日 2.5N/mm2以上 塩化物量 D.30kg/m3以下		謝定8 (隔離>- 撤左前) 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点     瀬定9   処理作業後   処理作業型内   各1点 各2点 各3点		・タイルカーペット シンコール TG-3503、3510、3615 ・壁 ビニルクロス サンゲツ 77-1086
de de	- 次の箇所を除き、防火材料とする。(箇所: )		試験方法 1)MEXCO試験方法 試験方法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」に		カウェウ シート接去後 田本社会室が禁の仕事 タリカ タリカ		・壁 ヒニルクロス サンゲツ //-1096 //-1088 ・和紙たたみ ダイケン 使やかおもて 銀白
工 ② 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗薬の除去範囲		よる。プレミックス秒と現場調合形で混和材が同一の場合はプレミックス のみ試験を行う		満足10 1週間以降 副軍対水至外部の行立 各1点 各2点		
*	※塗替え面積の30% ・ ・ ・ ・		2)塩化物の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリートの中の水の塩化物				
			イオン濃度試験方法」による。				
	1	1		1	I	-1	1
					186	MBR	数 計 章 第 臺 数 墓 读标卷号
					・川建築設計事務所 総合保健福祉センター「タワーの湯跡」	改修工事 20:	)21年6月 2100
			<u>U</u>	11	041 直山県高岡市峡東2丁目1巻27号 0506/22-1099 FAX 0506/27-1571 東北 全部銀行451号 大陸を 泉ー 特記仕様書(改修用) 3	現尺	一級經際主 登録第145481号 大総谷 良一 A=03

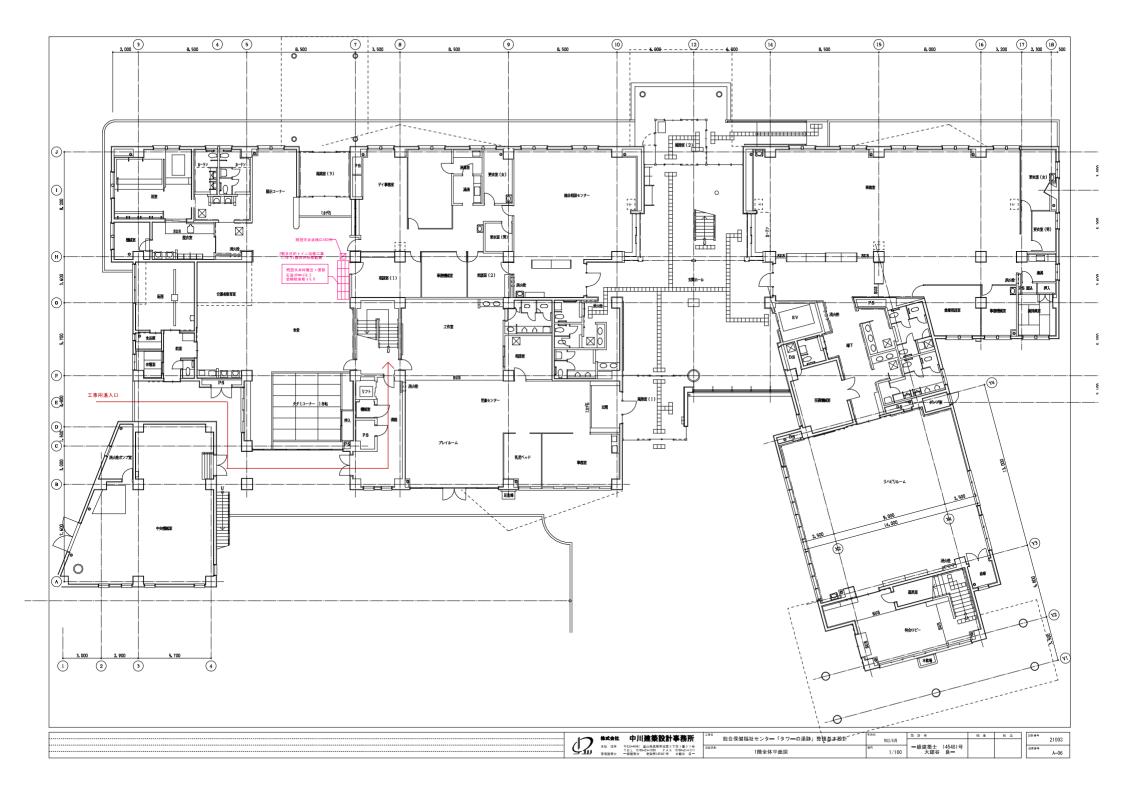
1	株式会社	中川建築設計事務所	TBS
ርፌ	本社 住所 管理建築士	〒933-0041 富山県高岡市城東2丁目1巻27号 TEL 0766-21-1099 FAX 0766-21-1371 一級建築士 登録第145481号 大提谷 泉一	MHE#

-	総合保健福祉センター「タワーの湯跡」改修工事	2021年6月	- 総建築士 登録第145481号	 N 1	88.96.9
699	特記仕様書(改修用) 3	現代	大郎谷 良一		回避 音号

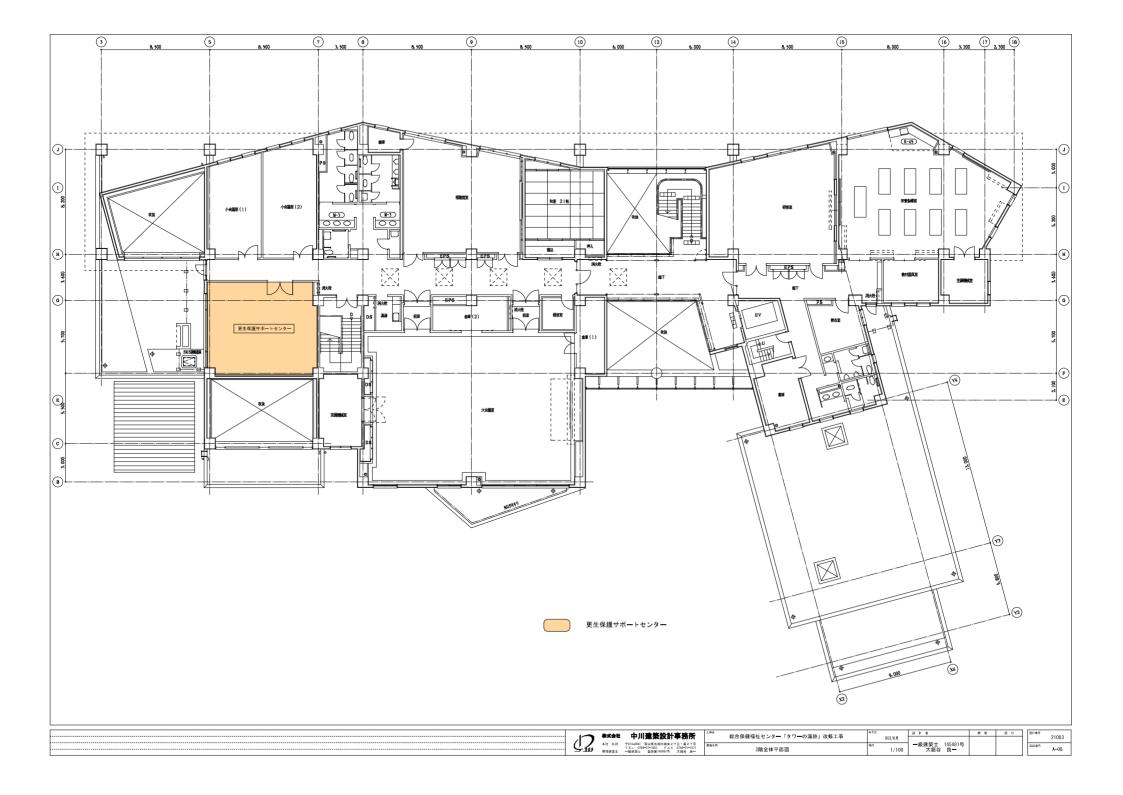


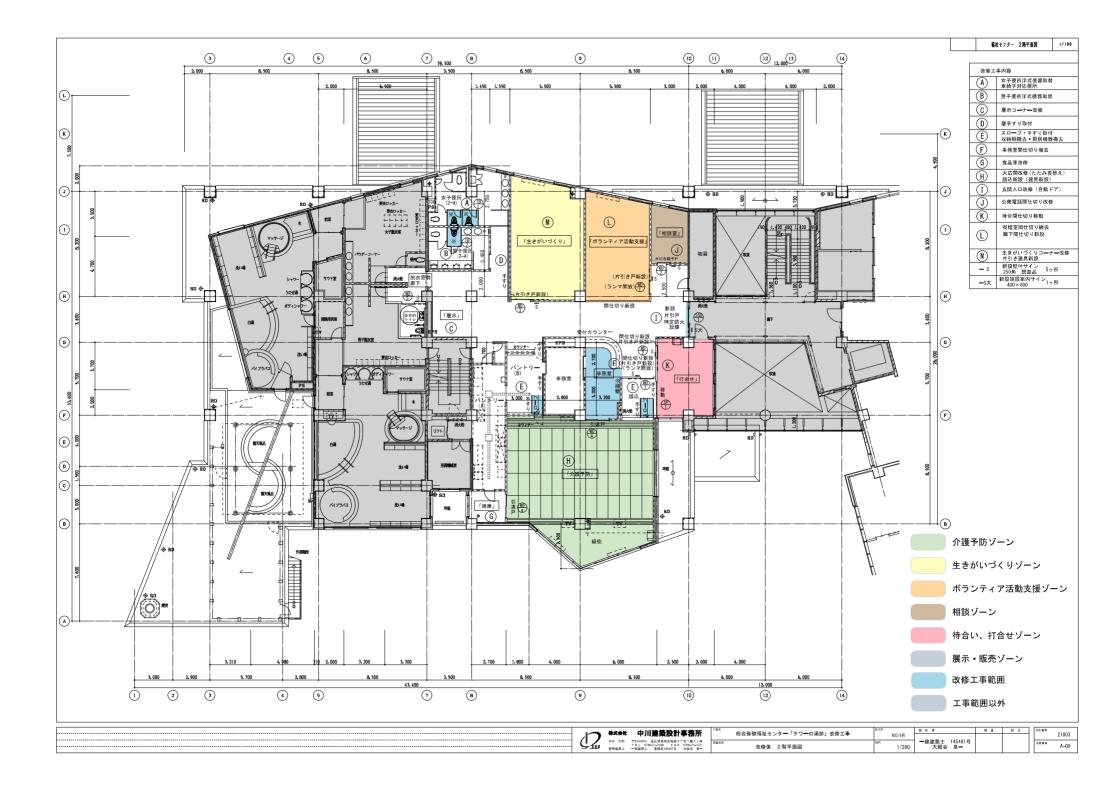
	内	部仕上表															
棟階	室		床	巾木	壁、腰壁	天 井	廻 縁 天井高	その他	棟段	室	ž.	床	巾木	壁、 腰 壁	天 井	廻 縁 天井高	その他
	2階吹払 廊下	既存	モルタル全銀下地 ビニル床シート 検去	ビニル巾木 H = 1 0 0 撤去	石膏ボード+12.5 ビニルクロス仕上げを搬去 小幅板	石膏ボード下地 岩線吸音板 15.0 撤去	塩ビ回り線 撤去 CH=2,600			事務室(月	164	モルタル会援下地 タイルカーベット 撤去 2貫床 タイルカーベット 散去 +150	ビニル巾木 H = 100 撤去	石膏ボードt12.5下地 ビニルクロス仕上げを撤去 小幅複	石膏ポード下地 岩綿級音板 t 9.0 一部撤去 化粧石膏ポード t 9.5 一部撤去	塩ピ回り縁 CH = 2 , 3 5 0	建具新設
福祉センター	玄関	改修	壁撤去跡モルタル金ごて 補修 改修 タイルカーペット 張替え	ビニル巾木 H=100	片面強化石膏ボード21+21 (変下まで)LGS下地新設 (1時間耐火間仕切り) 石膏ボード12,5+9.5 改修 ビニルクロス張り 腰部分張り分け	LGS下地新設 新設 岩綿吸音板9.0+石膏ボード 9.5一部張替え	塩ビ回り緑改修 CH=2、600		福祉センター	事務室 (A) 8.59㎡	ō#	改修 タイルカーペット 張替え	新数ピニル中木 H=100	一部理機士 既設石資ポード t 1 2 . 5 下地 改修 ピニルクロス張替え	石膏ボード下地岩綿吸音板 t 9.0補修 (壁撤去部分)	塩ビ回り線 現状のまま再使用 CH=2、500	上り框新設
'   ⊦	98.8㎡ 公衆	既存	エミカミを強工者 カノミャーよっし 松木	F-11-6# 4 - 10.0 Wet	腰部分張り分け LGS下地石音ボードt12.5共 ビニルクロス撤去	石膏ボード下地 岩梯吸音板 19,0 撤去	塩ビ回り絵 撤去		.	6.35㎡ 事務室	既存	ビニル床タイル	ピニルホ末 H = 100	石膏ボードt12.5下地 EP	マ京本 リアは (株成の大型、0.0)	塩ピ回り線	厨房機器撤去
	電話室 相談室	\$ 6 5	世級大師モルタル金ごで 補修 改修 タイルカーペット 張替え	ビニルウ木植物 H=100	は8・Pを日本トに12・3天 ビールクロス強な 改修 ビニルクロス張替え (一部LGS下地石音ボード下地補修) 壁・建具撤去跡補修 腰部分張り分け	LGS下地新設 石膏ボード下地岩線吸音板 t 9,0補修 (壁・天井椒去跡補修)	CH = 2,500 理ビ回り線改修 CH = 2,500	壁一部撤去		(B) 事務室 (B)	改修	<b>ミニル</b> はダイル 現状の京ま再使用	スポのまま再使用 表状のまま再使用	国家の主主角使用	石東ボード下地 出着船をおく3.0 現状のまま再使用	CH=2,500 塩ピロリ線 現状のまま再使用 CH=2,500	食器棚撤去
	下足室	既存	モルタル金銭下地 タイルカーペット 鞍去	ビニルの木 H = 100差去	石膏ボードt12.5下地殊し ビニルクロス仕上げを撤去	石膏ボード下地 岩綿板膏板 t 9.0 一部撤去	塩ビ回り線 CH = 2,500	片引き戸新設		パントリー (A)	既存	合成樹脂塗り床 アスファルト防水	SUSAX	石膏ボード t 1 2 . 5 下地 ケイカル板 t 6 . 0 1 0 0 角 9 イル	ケイカル板 t 6 . D E P	塩ビ回り線 CH=2,400	厨房機器現状のまる
	相談室	ă#	改修 タイルカーペット 張替え	ビニル巾木補修 H = 100	改修 ビニルクロス張替え 腰部分張り分け	LGS下地新設 石膏ボード下地岩綿吸音板 t 9.0補修 (天井撤去跡補修)	塩ビ回り線改修 CH=2,500	壁一部撤去		パンドリー (A)	改修	現状のまま再使用	現状のまま再使用	現状のまま再使用	現状のまま再使用	現状のまま再使用	
	12.35m 休憩	既存	モルタル金銭下地 タイルカーベット 搬去	未懸巾太 H = 1 0 0	石膏ボード:12.5下地酸し クロス仕上げを搬去	石膏ポード下地 岩綿吸音板 t 9.0	塩ビ回り縁	片引き戸新設		パントリー (B)	既存	合成樹脂塗り床	100角タイル	石膏ポードt12.5下地 ケイカル板t6.0 100角タイル	ケイカル後 t 6 . 0 E P	進년回り録 CH=2,400	スロープ、手すり新
	ルーム ポランティア 活動支援室	36	改修 タイルカーペット 張替え	木製巾木 H = 100 現状のまま再使用	小幅板 小幅板 現場のまま再使用 改修 ビニルクロス張替え 新設間仕切り	現状のまま再使用	○H = 2, 700 現状のまま再使用	喫煙室撤去		パンドリー (B)	改修	7スファルド族 改修 タイルカーペット 張り	現状のまま両使用	ケイカル板 16.0 100 常ダイル 現状のさま再使用	現状のまま再使用	UH=2、400 現状のまま再使用	厨房機器撤去 棚梯
	40. 20 m				LGS下地W65石膏ボード (不燃) 両面張り+ビニルクロス					13, 58m							
	リラックス ルーム 生きがし づくり3	既存 改修	モルタル金線下地 タイルカーベット 搬去 改修 タイルカーベット 張替え	ビニルホ木 H = 100 現状のまま再使用	西南ボードt12.5下地頭しピニルクロス世上げを搬去 改修 ピニルクロス張替え 腰部分張り分け	石膏ポード下地 岩線吸音値 t.9.0 現状のまま再使用	塩ビ回り線 のH=2、100 現状のまま再使用	片引き戸新設		ルリー 便所 ルリー 便所	数修	モルタル全接 ビニル床シート 現状のまま再使用		石膏ボード:12.5下地 100角タイル 現状のまま再使用	ケイカル張 t 6 . 0 E P 現代のまま再使用	塩ビ回り線 CH=2,400 現状のまま再使用	
_ I F	50.94m 廊下	既存	モルタル金銭下地 タイルカーペット 被去	+8++ 8.100	石膏ボード: 12.5下地強し クロス仕上げを拠去	石藻水一片下地 遊除與音短19,0	塩ビ回り輸	手すり新設			既存	合成機能塗り床	ピニルホ木 H=100	TWA 11.14 FT4.15	byhtes o so	塩ビ回り線 0 H = 2 , 7 5 0	建具新設
-	廊下展示コーナー	8.6 -	できない主要は タイルカーペット 被当 改修 タイルカーペット 張替え	京献のまま再使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	現代できた。 東京 日本	CH=2,500	子9 り新設		<b>食品庫</b> 雑庫	改修	アスファルト助水 現分のまま再使用	現状のまま両使用	石業ポードと12.5下地 EP 現状のまま再使用	サイカル板 t 6 . 0 € P 現状のまま再業用	□ 日 = 2 . 7 5 0 現状のまま再使用	注 未製棚搬去
	男女便所	F 既存	300角タイルブース内 被去 アスファルト防水	SUS市本	石膏ポードt12.5下地接し メラミン化粧板	ケイカル板 t G OEP	<b>第1回り着</b>	既設和便器を		大広間	既存	2 世味 たたみ象 接合フローリング +150	たたみ寄せ	石舎ボードt12.5下地 ビニルクロス仕上げを撤去	石膏ボード下地 岩綿板音板 t 9.0 ビニルクロス 化粧石膏ボード	木製 CH=2, 850 • 2, 550	引達戸新設
	男女便所 (2-A)	ή <u>8</u> 8	便所洋式化改修 100角磁器タイルにて 一部結修	現状のまま再使用	現状のまま耳使用	現状のまま再後用	0 H = 2 , 4 0 0 現状のまま再使用	既設和便器を 洋式便器に取替 リモデルエ法 トイレブース 一部撤去・新設		大広間	收修	フローリング再使用 52帖を和紙たたみ表張替え	現状のまま再使用	改修 ビニルクロス張替え	現立ままなの大田	現状のまま再使用	片引き戸新設
	喫茶室	既存	モルタル会談下地 タイルカーペット 撤去	木製巾太 H = 1 0 0	石膏ボード:12.5下地強し クロス仕上げを搬去	石膏ボード下地 岩綿吸音板 19.0 一部撤去	塩ビ回り糖	既設パーティション		緑側	既存	2重床 タイルカーベット +150	未製巾木 H = 100	石膏ポード:12.5下地 ビニルクロス仕上げを兼去	石膏ボード下地 岩綿吸音板 t 9.0	木製 0H=2,520	
1	打合せ3 踏込 25.77㎡ 8.37㎡	i as	改修 タイルカーペット 張替え	本製市本 H = 100 現状のまま再使用	今報長 現状のまま再使用 新設間仕切り LGS下地収65石膏ボード (不燃) 両面張り+ビニルクロス 改修 ビニルクロス張替え	製物は素膜用 石膏ボード下地岩綿吸音板 t 9.0 補修 (間仕切り移動跡補修)	のH = 2, 700 現状のまま再使用	移動 スロープ・手すり新設		緑側	改售	改修 タイルカーペット 張替え	表別のまま再使用 現状のまま再使用	ウロート: 12.3 時 こールグリムはエリアを集立 改修 ビニルクロス張替え	現状のまま再受用	現状のまま再使用	
	0,37111		I.							19,08㎡ 男子 脱衣室	既存	モルタル全鏡下地 タイルカーベット 拗去	木製巾木 H = 100	石膏ボード:12.5下地 ピニルクロス仕上げを撤去	ケイカル板 t 6 . 0 EP 被去	塩ビ目り数	片引き戸新設
			3,500 8 8,500	9 8, 500	10					那公主 男子便所 8.90m 多目的	改修	ー部級マット 搬去 モルタル全装下地 ピニルほシート 搬去 ビニル床シート t 2.0	ピニルホ末 H=100級法	小低板 現状のまま再使用 一部撤去 石膏ボードt   2.5下地 メラミン化粧板撤去 業所設「筒1仕上打り」	ケイカル板 t.6.0 EP 撤去	0 H = 2, 700 塩ピ回り緑 C H = 2, 500 塩ピ回り緑	仮間仕切り - 開き 新設面台
	(1 <del>)-</del> T		\$ 20 B				_			トイレ 6.0㎡			H=100	LGS下地WG5石膏ボード t 12.5 両面張り+ビニルクロス 改修 ビニルクロス張替え	化粧石膏ボード t 9.5	0 H = 2 , 5 0 0	
	1 8									脱衣室前廊下	既存	モルタル金援下地 タイルカーベット 数去	木製巾木 H = 100	石膏ボード t 1 2 . 5 下地 ピニルクロス仕上げを撤去 小幅板 現状のまま再使用	ケイカル板 t 6.0EP	塩ビ回り線 CH:2,700	
,	(1) 82 (1) 82 (2) 82 (3) 82 (4) 82 (4	4	11224	(A) を予報金 (A) を予報金 (A) を予報金	THE STATE OF THE S					脱衣室前廊下	改修	改修 タイルカーベット 張替え	ピニル巾木 H=100	新設間仕切り LGS下地M65石膏ボード t 12.5 両面張り+ビニルクロス 改修 ビニルクロス張替え		塩ビ回り線 0 H = 2 , 7 D O	
(	6,700	ROBERT .		(B) (A) (B3)	100 17001	太事月 改修床面積 524.7 (GAD上での計測)											
,			w. C			Ţ		_						0000	**************************************	A + = +	
(	() = () = () = () = () = () = () = () =		_ <b></b>						壁下均	•	ζ	不燃 石膏ボード 12.5・9		0000	改修工事の内容を示す。 変更室	石 か 不 す。	
	000.5		(10 m) (10 m)		<b>].</b>					上上げ材		岩綿吸音材 t 9.0 (					
(	<u> </u>			W					天井T	で地材 		石膏ボード 9.5 ( 防炎加工	<b>个</b> 盛)				
			 □ 新室名	N. C.	改修後平面図			面積表		ンカーヘッ i膏ボード2		防炎加工   1時間耐火間仕切り					
									,58.16.7.	4 pg 415 17 2		16/16/80 5/16/17 8/1 A		<u> </u>	<b>・ 東</b> 年月日 原計者	松田	

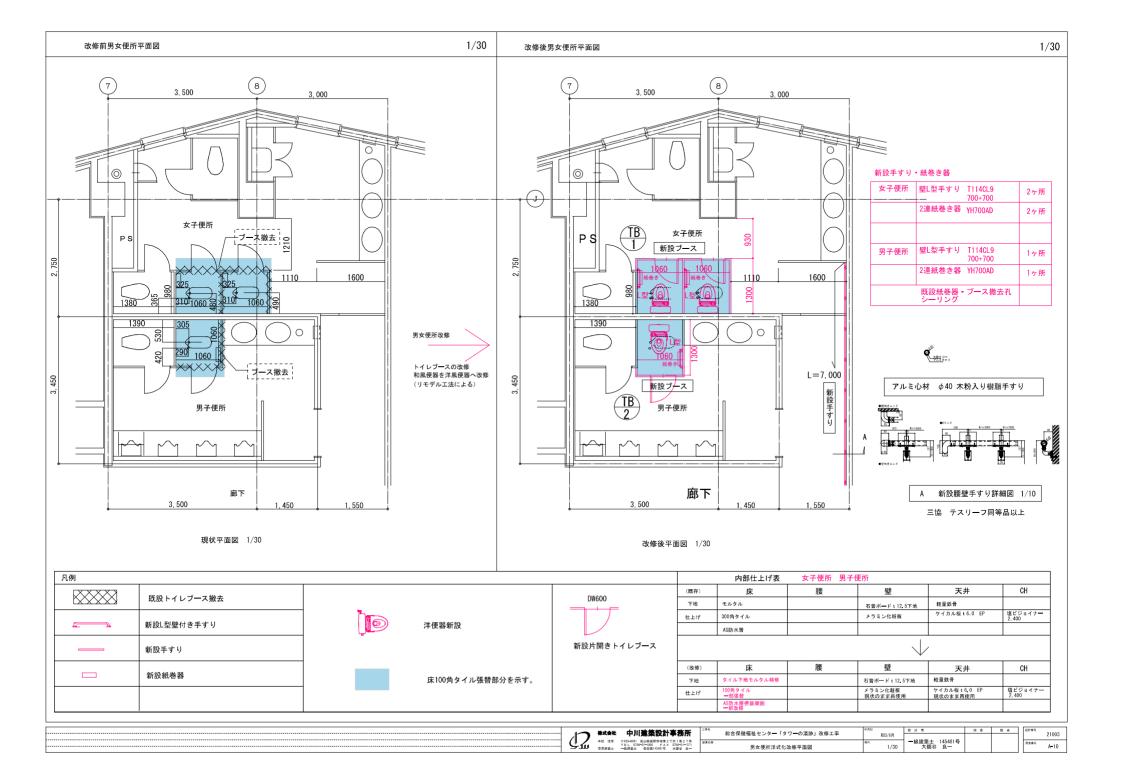
21003 図開報 A-05

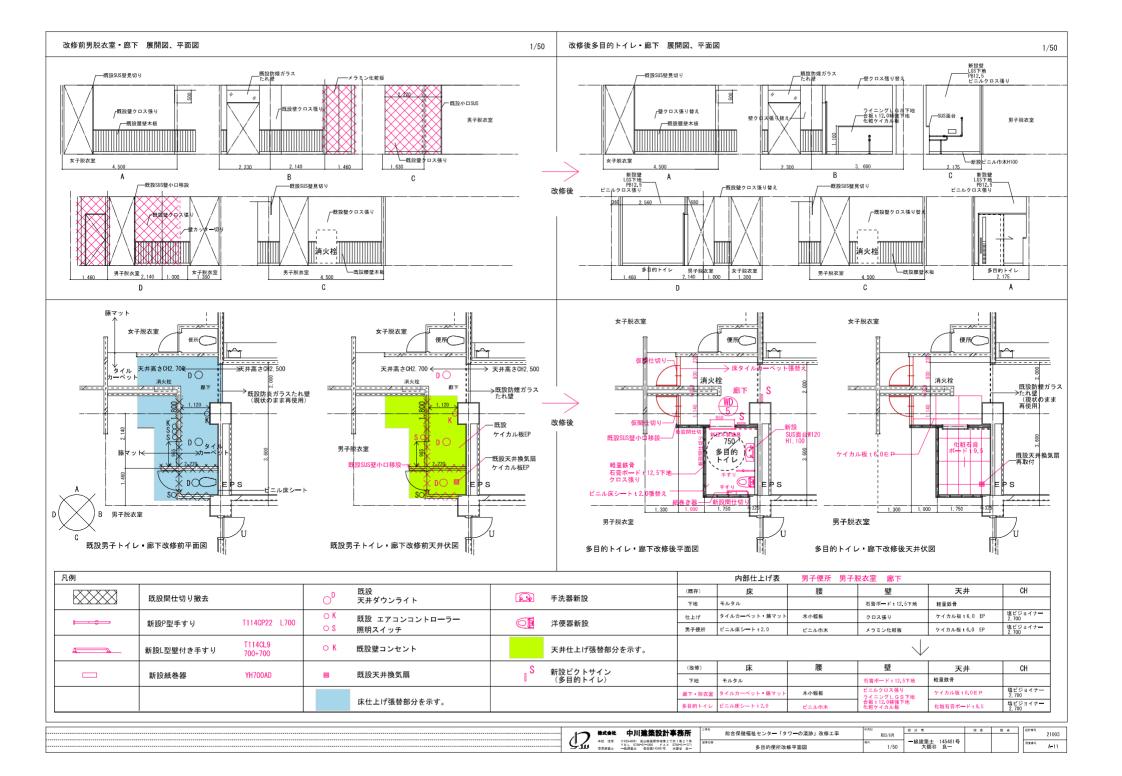


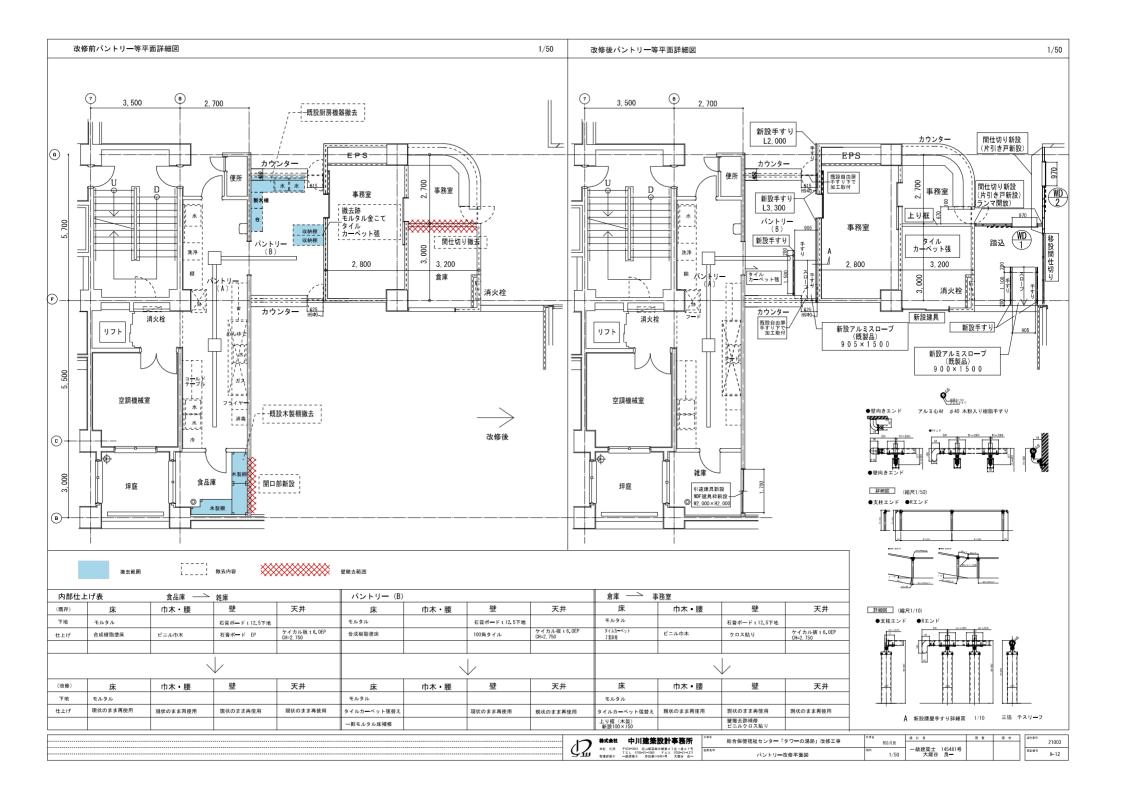


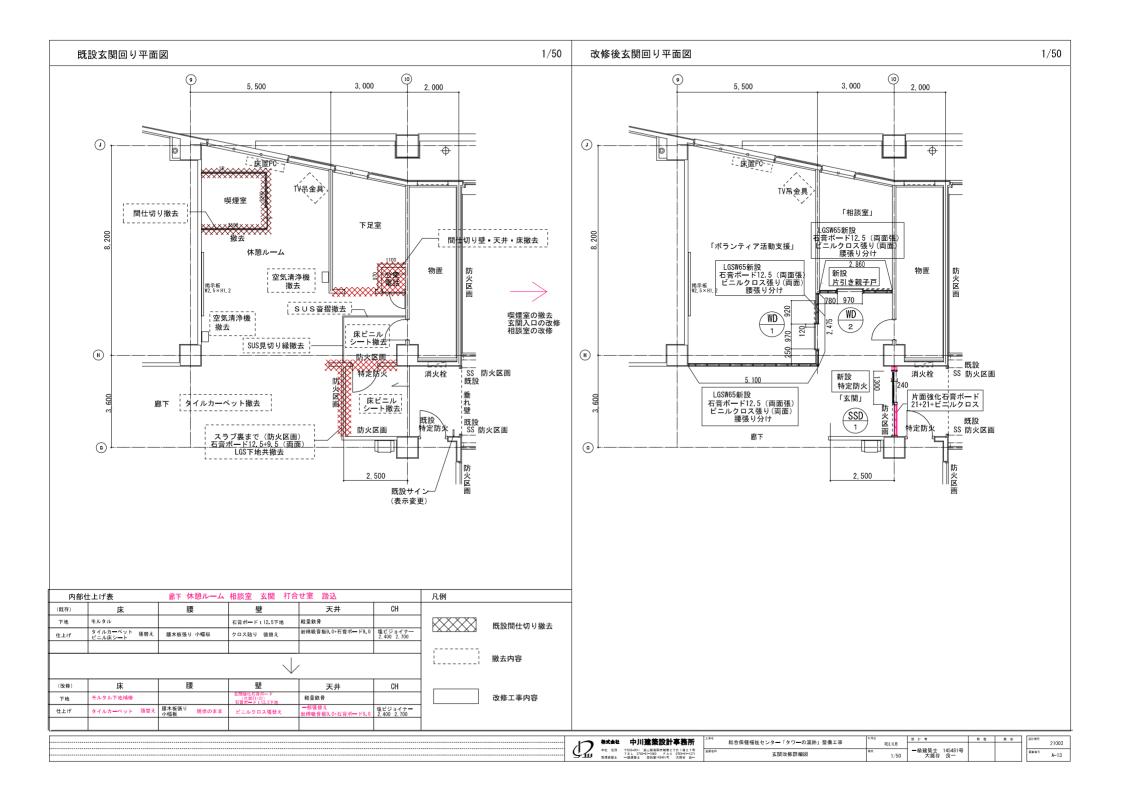


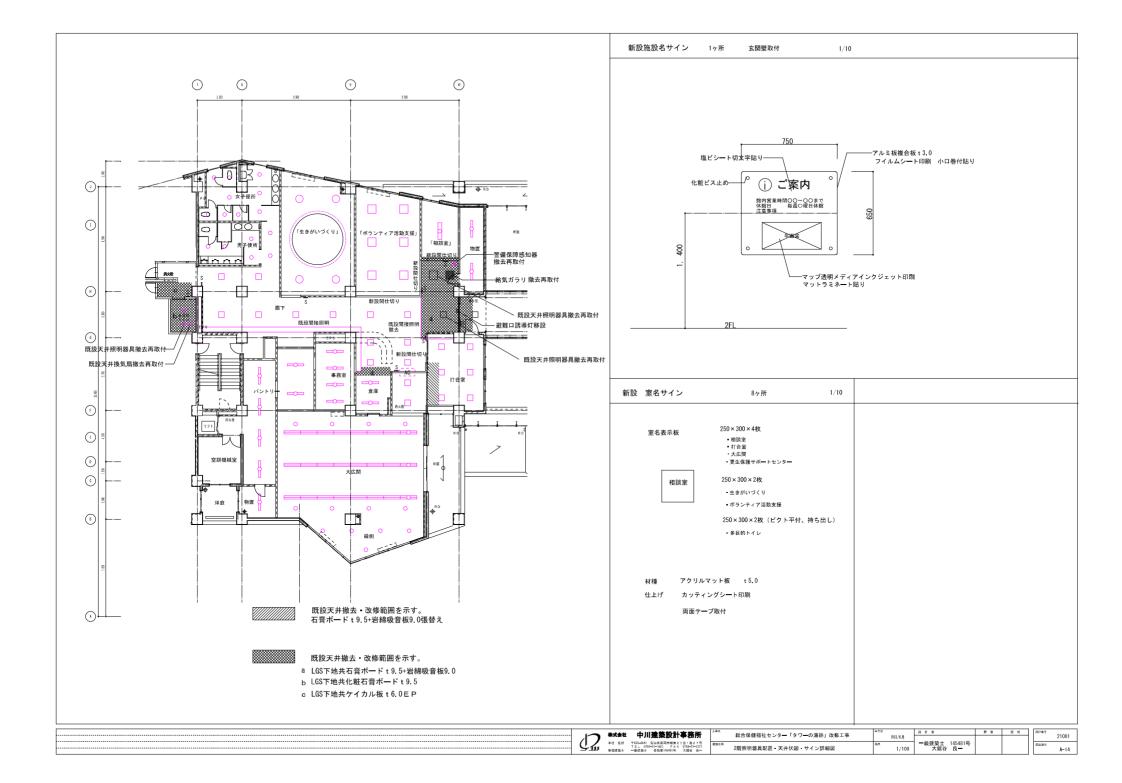


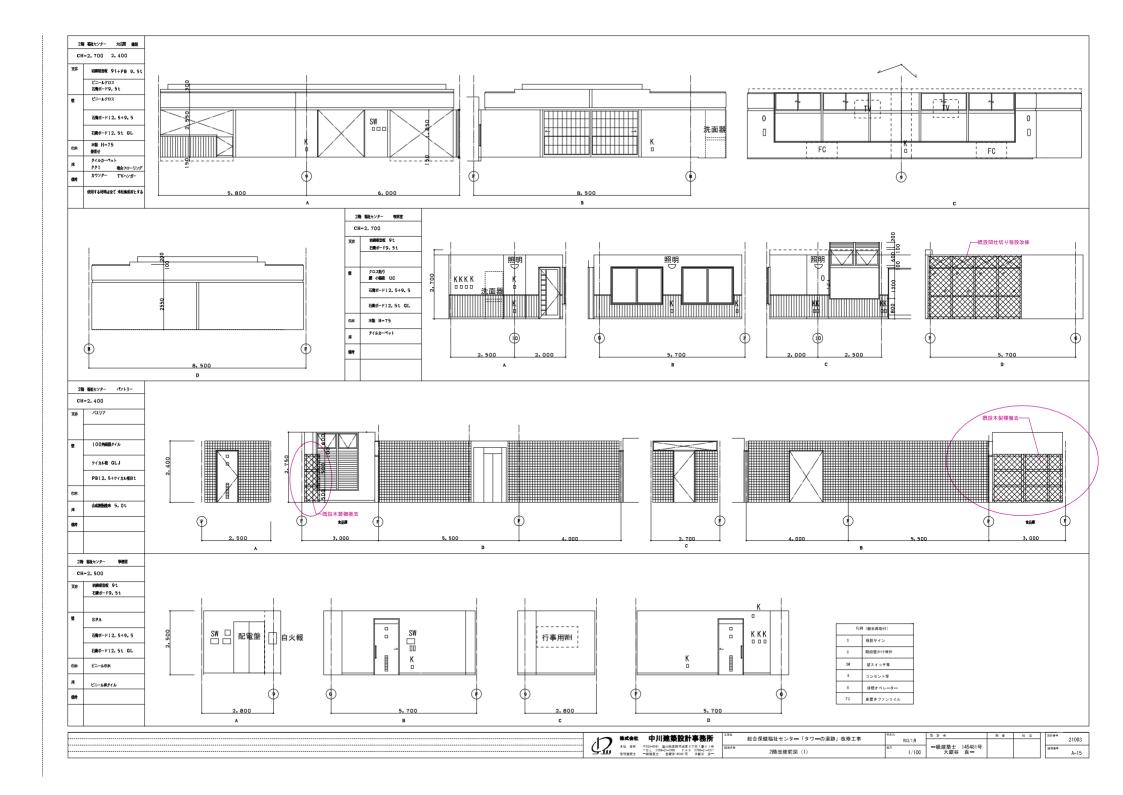


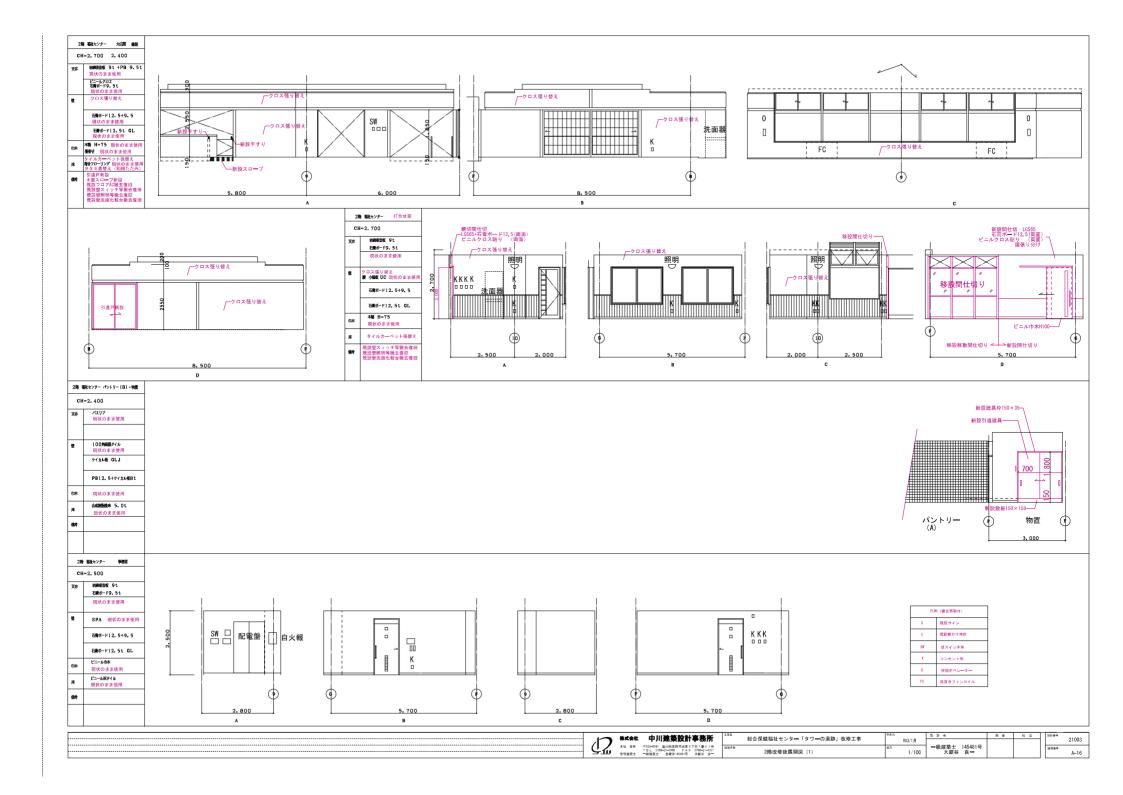


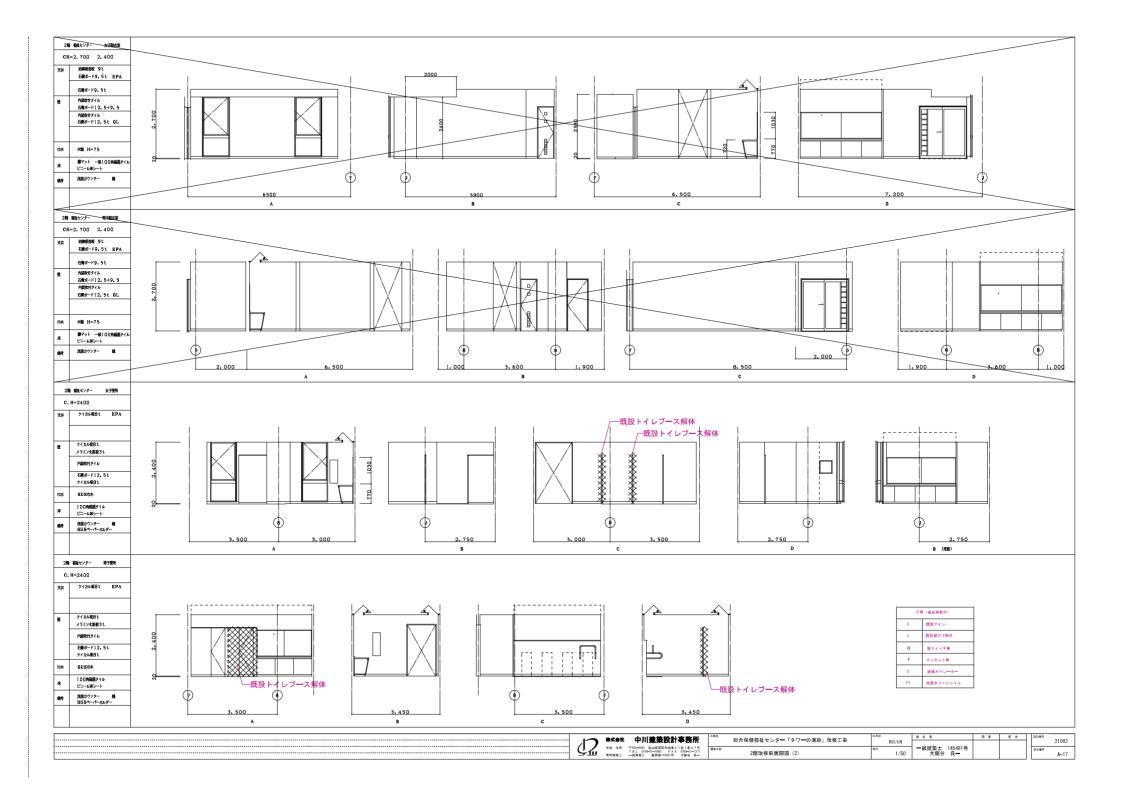


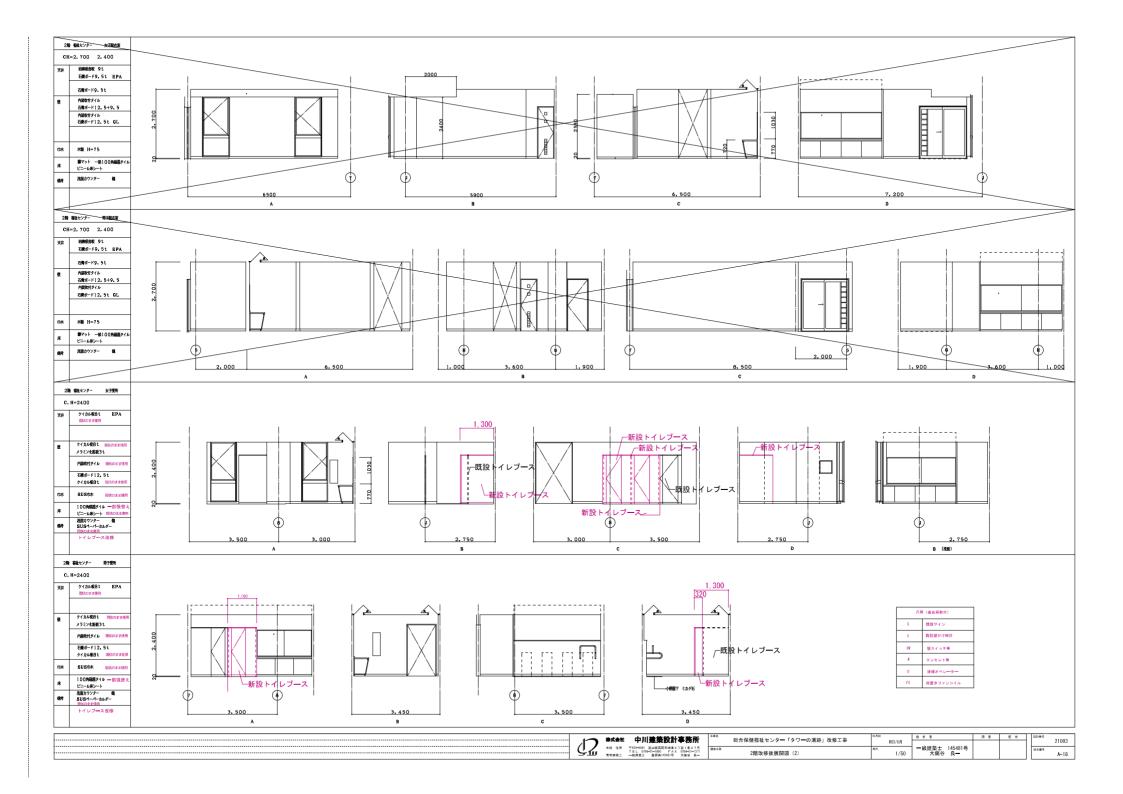


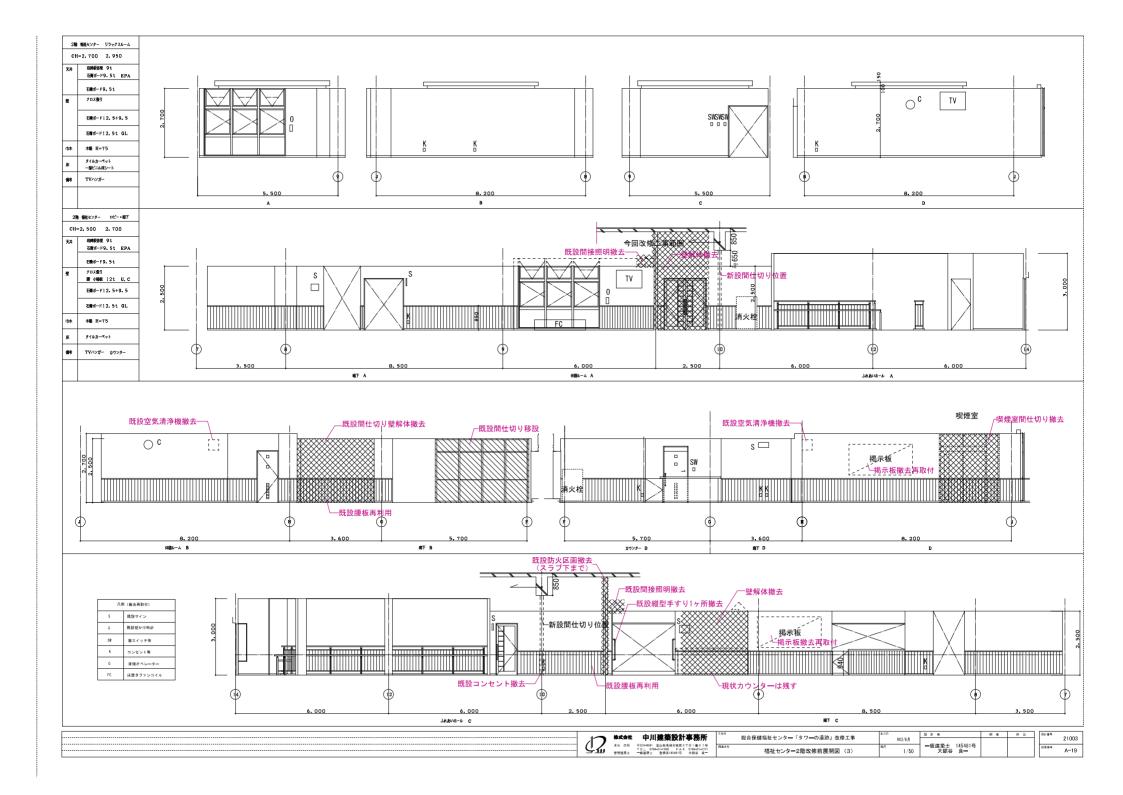


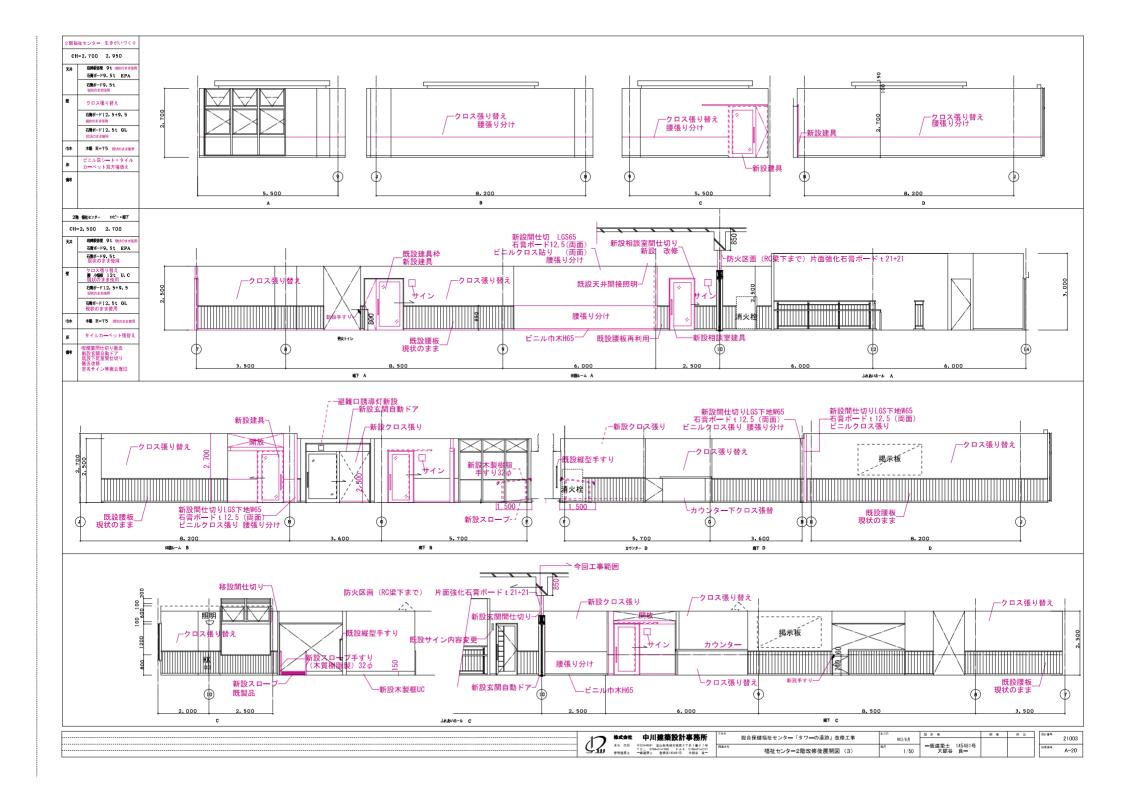


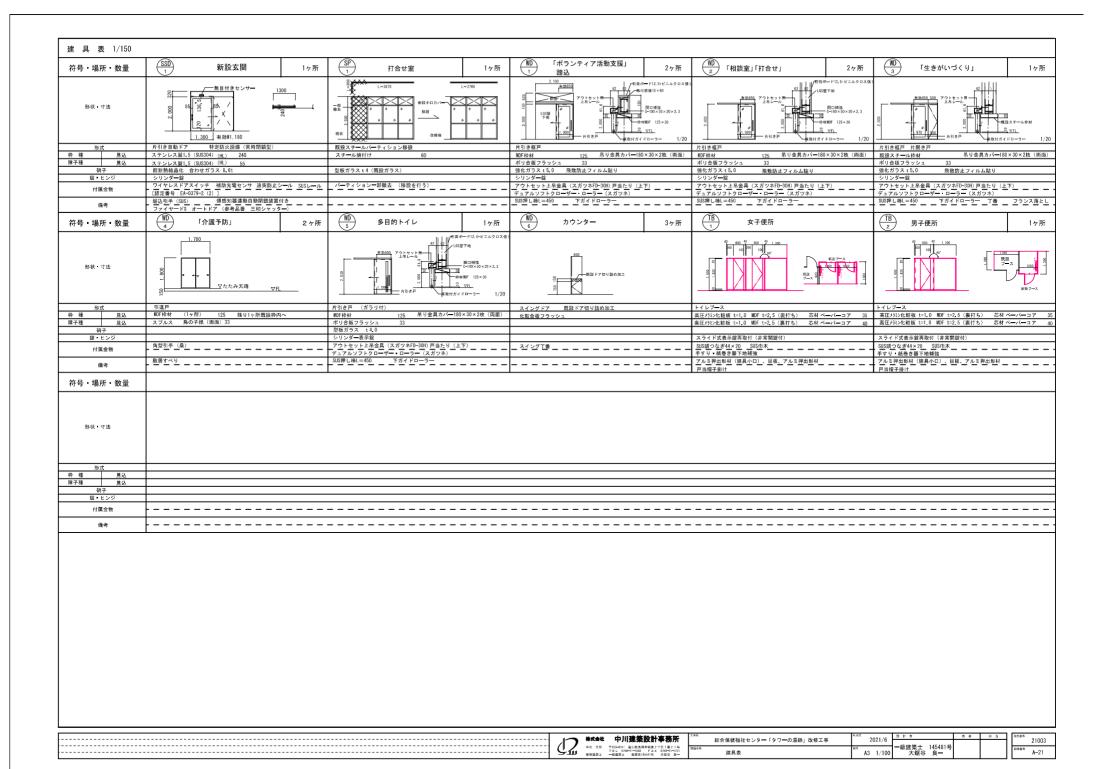


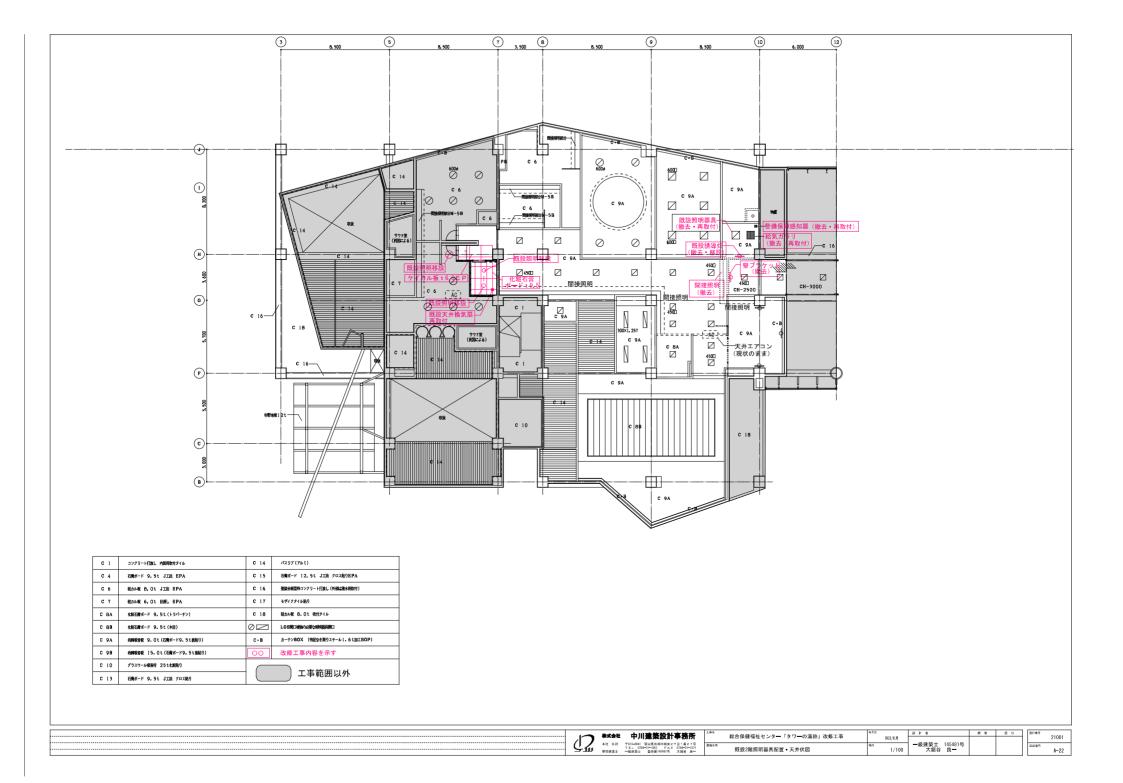












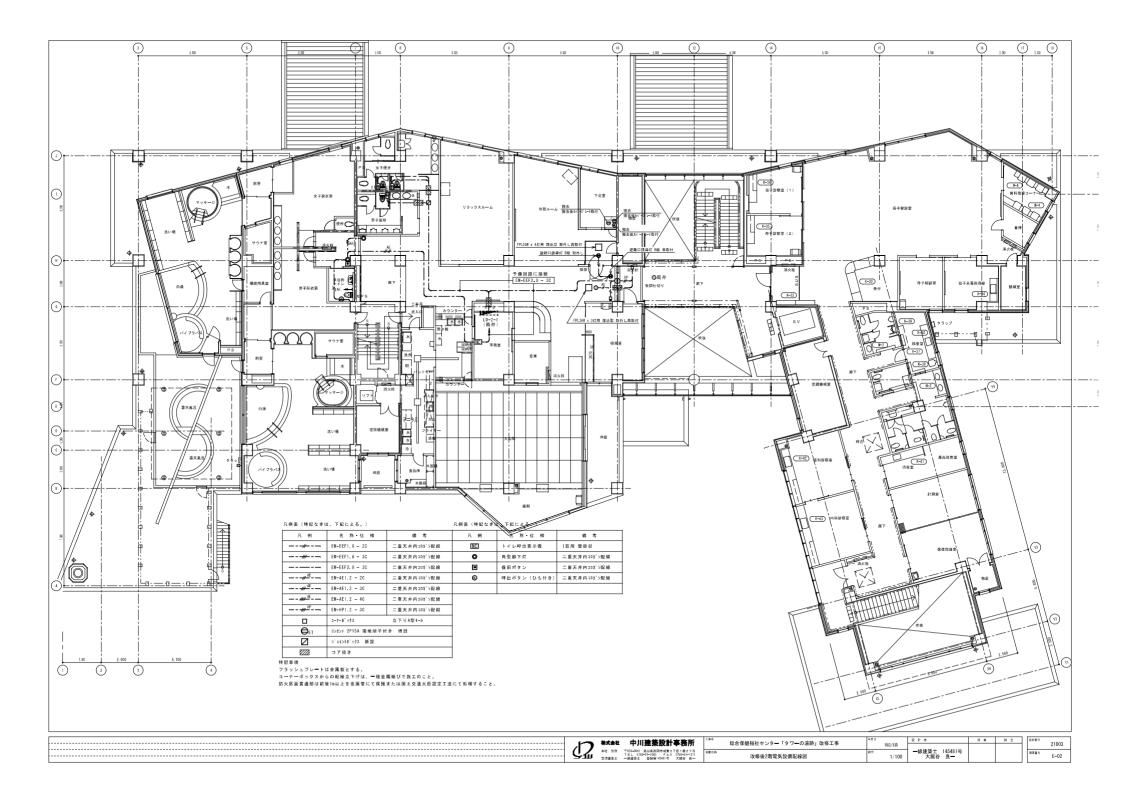
●電灯設備 電力貯蔵設備 映像音響設備	国 (〇印をつけたものを適用する。) ・ 動力を	新生器具按備 ⊙ 消火設備	事種目(〇印をつけたものを適用する。) 除木取機 ・原水炭機 ・約海炭機 水水取炭機 ・原原炭機 ・ガス収機 銀石取機 ・外化物設機 ・倒板エエキ	・空間設備 工事種目(○印をつけたものを適用する。) ・空気効能動態 立対タット設備 ボイラー及び代規機設備 木部施設権 ○ 東京 長 森 長 森 長 森 男 女子 大砂森 は 世立 会 は ボデタット 設備			
- 性投入の発揮  1 呼び級及び予報配等  第 気 数  3 世級年程、管路等  3 金属等の登装  0 フラッシュブレート  0 片変 用 電 等  0 知品、前間記上  7 馬圧文法或部等  8 消 失 等	・施門人選手管投票 グス性的技術 (大阪性)と称している。	・ 単一 の	未協称を実践する場合、未材は固定工業だとする。 ・ 本品製品はよればできる。 実際による。(ユール財産資料共和) 製剤はよる。(ユール財産資料共和) 製剤はよる。(エールリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリーリ	1 段 計 差 図 文   日本	96 で 96 (***********************************	2 月 ダ ク ト ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス	・・電紅ダクト(・ アダッド) エネ・ナイドリエ油( - 共配ラツ 13位 1279ツ))     ・・ 別級旅の申先用サウトは、確定仕事業しま2のタクトの投資の減まり1等手楽いものを使用する。 関係総配は機合の結婚目による。 ・ 財政保証・
9 電話後への耐線 10 火災報知及機用総合盤 11 ガス網火災電報装置 12 ハンドホール	・	5 弁 類 5 弁 料 7 差 鞣 超 平 8 水 栓	正点の影響吸収性タイニング学表とする。     ステンレス報とで動きの情報を表の分別を入っして最大する。     国面に関心ない場合の部所は実践による。     木油画路部の   MSZはおが (	バーには、病状で思知さる。原知の大きさは部による。 3 労働に出するラリに高度等分析と表現を分析しました。 6 ダ ン バー 1 計画ダンパー 担格が式 ( 油原 )  2 世界式 ( 油原 )  2 世界式 ( 油原 )  2 世界式 ( 油原 )  7 記 質 材 料 加水ダ ( 地界式 ( 油原 )  2 地界式 ( 地界式 ( 油原 )  3 地界域 ( 地界式 ( 地界 )  3 地界域 ( 地界式 ( 地界 )  3 地界域 ( 地界 )  4 地球 ( 地界 )  4 地球 ( 地球 )  4 地球		1 システム機械その他 2 電気計装用機材 2 電気計装用機材	第七方。 関型にたる。 接触では発生し、環境は逐漸と特象を編集をしまりによる。(機能・整弦を除く。) 2 屋内・国内落立の変数は、原面に特定がなければな過度を能とする。 3 天内内心へ切か起は、原面に特定がなければケーブルを能とする。 - 从の物支承大器 号 本 本 ・ 別を関係をある。
13 जानपाहेलाक ∰के प झ ट	(1) 中の中級権 (1) 大変 (2) 中級権 (2) 大変 (2) 中級権 (2)	10 引送納付金等  1	要(、別連 本工事) 不養  - 示於政策(・公元下本 中心語  - 報知を認定(・公元下本 中心語  - 報知を記念(・公元下本 中心語  - 報知を記念(・公元下本 中心語  - 報知を記念(・公元下本 ・ 中心語  - 報知を記念(・公元下本 ・ 中心語  - 報知をして、	13 選邦通常指示 13 選邦通常指示 14 能 録 終 平 25のの認証と取り付ける。 26 愛遊及び盗首 1 受達及び盗首 1 を受益及び盗首 1 を受益及び盗首 1 を受益及び盗首 1 を受益を受けるというに、企業のを受けるというに、企業の必要になり付ける。 1 年料、正式の表別では特定が付ければ標準は構業が運営等のから、選が、高が かけ、近が事を登場が正式が、レンケンーへは超速ができた。 2 金銭配置があった。 2 金銭配置があった。(**) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	- 由) とする。  37 (返り)  27 (返り)  27 (返り)  27 (返り)  27 (返り)  27 (変別)  28 (ボールン・アクリーをがった。  27 (変別)  28 (ボールン・アクリーを受ける。  27 (変別)  28 (ボールン・アクリーを受ける。  28 (ボールン・アクリーを使ける。  28 (ボールン・アクリーを使ける)  2	等企业 电电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电子电	- 高井原( - 銅板製 - 90年 製 - 70年製 ) - 小の形実入が 号 - 本 - 高火柱化物版 - 本入 他( - 銀板財 - 505財 ) - 高水板( - 銀板財 - 505財 ) - 高水板( - 銀板財 - 505財 - 76.毛製)
16 電 値 項17 二重項內容員	### ( (大学	- 消失等数点 (1 ma) 2	小佐年東川山路	・対策的人タテルの組織度 (全て ) ・選列タナルの組織度 (全て ) ・選列タナルの組織度 (当社の1) ・選列タナルの組織度 (当社のアナルの場合を ) ・通知タナルの場合で (当社のアナルの場合を ) ・ 「中かし、企びタナルの高度の扱い、選売機能を (当社の北京的 ) ・ 「他の北上とする (主ないながら、 ではないながら、 ではないながら、 ではないながら、 ではないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	部の保温を不要とする。 おこよる。 50の信水管の項による。 305ラッキング、とする。 ないよう必要に応じてシールする。 一等は、ビス等により容易に最終で		

 C fin

n	株式会社	中川建築設計事務所	14:
ርሚ	本社 住所 管理建築士	〒633-6041 富山県高岡市議東2丁目1番27号 TEL 0766-21-1060 FAX 0766-21-1311 一級建築士 登録第145431号 大鄭谷 良一	10 m d

工事名	総合保健福祉センター「タワーの湯跡」改修工事	年月日	放計者	报查	担 当
	66日本経徳社でファー・アラーの施助」以序工事	R03/6月			
RESE	特記仕様書		一級建築士 145481号 大鋸谷 良一		

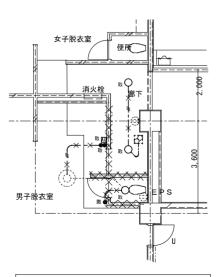
5	設計器号	21003
	関節當号	E-01



## 凡例表 (特記なきは、下記による。)

VIBIAL (ALICA	ぎは、下配による。)	
凡例	名 称・仕 様	僚 考
<del>*</del> -*-	VVF1.6 - 20	配線のみ撤去
<del>*</del> #*	VVF1.6 - 3C	配線のみ撤去
	既設線 既投器具	现状维持
Olto	FDL13W x 1灯用 埋込型	取外し
●撤	\$>7" 5249# 1P15A x 1	撤去
8		
AC Rx	エアコン用 スイッチ	取外し

取:取外し 再:再取付 撤:撤去

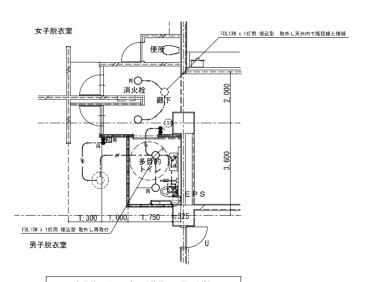


既設男子トイレ・廊下改修前平面図 1/50

凡例表(特記なきは、下記による。)

Л. 94	名称 仕様	備考
	VVF1.6 - 2C	
	VVF1.6 - 3C	
	既設線·既設器具	現状維持
Оя	FDL13M x 1灯用 埋込型	再取付
0	LED7.6W 1065In 埋込型	LRS1-08
.8	タンプ・ラスイッチ IPI5A +IPI5A PL付	
8再	9>7'52(y# 1P15A x 2	再取付
AC #	エアコン用スイッチ	再取付

取:取外し 再:再取付 撤:撤去



多目的トイレ・廊下改修後平面図 1/50

2018-9 E-03

